

保存版 (町内会・自治会用)



まちづくり活動のヒント

わがまち活性化推進事業活動事例集



土 浦 市



ごあいさつ

土浦市長 中 川 清

土浦市では、「日本一住みやすいまち土浦」の実現をめざして、市民との協働によるまちづくりを推進するため、町内会（自治会）との連携を図りながら各種事業に取り組んでおります。

現在、本市では、172の町内会等が結成されており、地域コミュニティの活性化と発展のために、それぞれ特色ある様々な活動が行われております。

また、市政各般にわたりまして、平素から多大なる御支援、御協力を賜っており、地区長をはじめ町内会等の皆様方には、心から感謝とお礼を申し上げます。

一昨年に発生した東日本大震災では、私たちは、これまで経験したことのない驚きと大きな恐怖を感じ、水や電気もない不便な生活を強いられました。

そのような中で、町内会等自らがコミュニティの組織力を活用し、炊き出しや井戸水の提供など、日頃の取組の成果を遺憾なく発揮していただきましたことは、市といたしましても大変心強く感じた次第であります。

市では、これまで6年間にわたり、「わがまち活性化推進事業」を実施し、地域の安心安全の確保、環境美化及び交流の拡充などにおいて創意工夫を凝らした事業を行った町内会等を称え、毎年表彰を行ってまいりました。

このたびは、これまで受賞されました45団体の活動内容、その後の活動状況などを紹介した冊子を作成いたしましたので、今後の町内会等の活動に際して参考にされるなど、有効に御活用いただければ幸いに存じます。

結びに、町内会等のますますの御発展を祈念するとともに、市政の発展のため、皆様方にはさらなる御支援と御協力をお願い申し上げます。

平成25年3月

◆ わがまち活性化推進事業の概要について ◆

わがまち活性化推進事業は、ゆたかで個性あるまちづくり・地域づくりにむけて町内会住民の創意工夫により地域コミュニティの活性化に取り組んでいる町内会、または、地域の課題を解決するために自主的、積極的に活動を実践している町内会に対し、その活動を称え表彰を行う制度です。

表彰の対象事業は、①地域福祉に関する活動 ②地域安全に関する活動 ③環境に関する活動 ④青少年健全育成に関する活動 ⑤その他、町内会（自治会）の力を合わせ、大きな課題や困りごとを解決した活動などで、町内会からの申請書を受けて、「土浦市わがまち活性化推進事業褒賞審査委員会」が「先進性」「継続性」「発展性」「自主性」「協働性」などを総合的に判断して表彰団体を決定しております。

なお、平成 18 年度から平成 23 年度の 6 年間に及ぶ事業でございましたが、45 団体が表彰を受けています。

～ 年度別の受賞団体数 ～

平成 18 年度	10 団体
平成 19 年度	10 団体
平成 20 年度	8 団体
平成 21 年度	6 団体
平成 22 年度	6 団体
平成 23 年度	5 団体

計	45 団体
---	-------



目次

平成 18 年度受賞団体

田中一丁目町会	田中一丁目セキュリティネットワーク……………	1
中村南四丁目町会	中四鍋会（なかよしなべかい）……………	2
烏山二丁目町内会	烏山二丁目町内会コミュニティ活性化事業……………	3
真鍋六丁目町会	真鍋六丁目町会活動におけるわがまち活性化推進事業……………	4
荒川沖西二丁目町内会	元気に誰もが参加し、 即見・即連・即応の出来る荒川沖西二丁目町内会……………	5
神立中央三丁目自治会	地域生活 安心・安全確保の防犯活動……………	6
港町1・2丁目町会	桜川不動尊・港祭……………	7
国分町会	国分町 安心・安全のまちづくり推進 ……………	8
桜ヶ丘町町内会	桜ヶ丘町 住民が築く安全なまちづくり ……………	9
並木四丁目町内会	並木四丁目頼り頼られふれあい事業……………	10

平成 19 年度受賞団体

北荒川沖町自治会	より住みよい北荒川沖町創り……………	11
まりやま団地自治会	まりやま団地地域ぐるみ推進活動……………	12
生田町町会	元気にふれあう生田町……………	13
蓮河原町内会	蓮河原町環境整備運動～ごみのない美しい水辺の町にしよう～ ……………	14
中高津一・二・三丁目町内会	中高津 安全・安心まちづくり事業 ……………	15
中村東町々会	中村東町親睦会……………	16
神立中央五丁目自治会	「明るく、声掛け合う町」次百（つぐも）事業 ……………	17
まりやま新町自治会	安心・安全まちづくり……………	18
真鍋一丁目町内会	地域安全と環境美化……………	19
並木二丁目町会	「町会だより」による情報の共有化 ……………	20

平成 20 年度受賞団体

西並木町会	独自のお祭りを核とした心が通う町づくり事業……………	21
大手町町会	「健康と支え合い」でいきいき安心安全な「まち」づくり ……………	22
天川一・二丁目町内会	天川町内の高齢化対応策……………	23
荒川沖東一丁目町会	みんなで住みよい町会創り……………	24
中村南一丁目町内会	「中村南一丁目町内会」事業 - あったか地域おこし隊 - ……………	25
真鍋二丁目町内会	公民館を拠点とする多様なコミュニティ活動……………	26
菅谷町町内会	みんなで造ろう 住みやすい町づくり ……………	27
立田町	地域安全と環境美化に関する活動……………	28



平成 21 年度受賞団体

真鍋三丁目町内会	町内公民館を拠点とする多様なコミュニティ活動……………29
千鳥ヶ丘町町内会	町内の清掃・清潔整頓運動の定期的な実施……………30
右糺一区町内会	みんなで協働 明るくきれいな町づくり……………31
神立中央一・二丁目	地域の総合力と地域の輪……………32
荒川沖南区町内会	地域、住民協働による 「安全、安心、明るい・住み良い町づくり」……………33
佐野子町	花の咲き誇る地域づくり……………34

平成 22 年度受賞団体

真鍋四丁目町内会	町内福祉の充実を図る活動の推進……………35
藤沢団地	明るい元気な藤沢団地づくり……………36
烏山一丁目町内会	できることは自らの手で！ 烏山一丁目「なおそう会」で住みよい町づくり……………37
神立中央四丁目自治会	町内の地域安全と環境活性化・青少年健全育成の推進活動……………38
小松1・2・3丁目町内会	公民館を中心とした、大規模町内会の三世代交流事業……………39
桜町四丁目町会	和をもって三世代交流を図る 桜町四丁目青少年健全育成の推進活動……………40

平成 23 年度受賞団体

真鍋五丁目町内会	多様な事業の充実による安全で住みよい町づくり活動の推進 ……41
大岩田二区町内会	地域の安全・安心、環境美化活動に取り組む大岩田二区……………42
霞ヶ岡町町内会	みんな元気推進事業……………43
荒川沖西三丁目町内会	地域安全が一番……………44
中村南三丁目町内会	「栗畑を拠点とした世代間交流事業」 及び「町内一丸となった環境美化運動」……………45

参 考

各町内の主な活動内容別索引

①防災・防犯に関する活動……………	46、47
②環境に関する活動……………	48
③福祉に関する活動……………	49
④世代間交流に関する活動……………	50
⑤その他、組織の充実などの活動……………	51



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

田中一丁目町会

田中一丁目セキュリティネットワーク

★活動内容

近年、各地において犯罪事件が多発しております。その内容も凶悪化、低年齢化してきております。このような現状から、当町内会では、行政・警察と連携のもと自主防犯パトロール隊を結成し、自主防犯活動に積極的に取り組んでいます。

田中一丁目セキュリティネットワークは、単に防犯パトロール（夜間パトロール・小学校下校時パトロール）を展開するのみならず、町内出来事発見作業も行っており、ガードレールの点検、街灯の確認、カーブミラーの向き確認作業、暗い箇所の確認、不審者・不審車発見、不法投棄発見等を行います。

特にいつでも人が歩いている、人影のない場所をつくらないための作戦を展開。社会教育センター（現：生涯学習館）裏から田中八幡神社までのゾーン、土浦二高脇児童公民館脇から新川沿いのゾーン、田中八幡神社脇から児童公民館までのゾーンを重点的に見守っています。

◆活動の成果

防犯活動が、町内会全体の事業として定着してきたことにより、パトロールによる地域情報の共有、隊員とのコミュニケーションが図られ、さらには、地域の防犯意識が高まるとともに連帯感が深まり、犯罪のない「明るく住みよい町づくり」を推進することができました。

活動の中で、防犯灯の管理・新設、不法投棄、危険箇所等の改善が図られています。



小学校下校時の防犯パトロール

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

中村南四丁目町会

中四鍋会（なかよしなべかい）

★活動内容

いざ有事（火災・地震・事故等）を想定して安全対策の訓練を行っています。

子どもたちは、防犯マップを作成しその学習をします。一方、大人たちは、会場近くの畑でとれた野菜を使って「炊き出し」を訓練して、高齢者・子どもへ優先的に配食し、地域住民がいざ有事に対する行動計画を知り、住民間の融和を図っています。

※名称の由来…中は中村南の中、四は四丁目の四、鍋はみんなでつついて食べる、会はずい。

◆活動の成果

町内の高齢者から子どもまで参加者100名以上が、鍋をつついてお互いの顔と名前がわかるようになり、あいさつを交わし親近感が得られるようになりました。当日、参加できなかった独居の高齢者の方々にも配食することにより、対話ができ、コミュニケーションが図られました。

さらに、平成15年より実施している中四鍋会の参加者が年々増えることに伴い、町内会行事の円滑化も図られています。



慣れない手つき 僕たちにもできるよ



大きい鍋 野菜は地元産



防犯マップで学習会

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	町会員の参加者を増やすことです。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

烏山二丁目町内会

烏山二丁目町内会コミュニティ活性化事業

★活動内容

町内会のコミュニティ活性化のため、町内納涼盆踊り大会と土浦キララまつり「七夕おどり」参加を伝統行事と位置づけ、「烏山第二団地連」として、幼児・小中学生・高校生・大学生・父母・祖父母の親子三世代で参加することにより、世代間の連携を図ることを目的としています。

- ・土浦キララまつり「七夕おどり」参加 平成元年から毎年連続参加 優勝3回、準優勝1回、第3位3回、特別賞12回など毎年入賞を果たしています。

◆活動の成果

土浦キララまつり「七夕おどり」へ町内会連として参加することにより、世代間の連携が図られ、これらの連携をもとに、花いっぱい運動、地区市民体育祭、自主防災訓練への参加など町内コミュニティ活性化が図られています。また、最近卓球やグラウンドゴルフ、カラオケへの参加者が増加し、健康とコミュニケーションの機会づくりに役立っています。



「土浦キララまつり 2012 特別賞入賞」H24.8.4



「土浦キララまつり 2006 第3位入賞」H18.8.5

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	町内役員、各種行事を支える人の高齢化。 その対策として、町内育成会の父兄の参加協力の呼びかけをしています。
事業を実施して役立ったこと	①伝統行事として実施している納涼盆踊り大会に、子どもと一緒に里帰りして参加をする世帯が大変多くなりました。 ②幼・小・中・高校生等だけではなく、高齢者も積極的に事業に参加するようになり、幅広い年代層で世代間の連携・交流が盛んになりました。
他町内会へのアドバイス	何事もリーダーがいなければ事業はできません。(リーダーの選出)
新規事業について	事業名：各種愛好会の発足 開始年度：平成19年度 事業の内容：卓球、グラウンドゴルフ、カラオケ、健康マーチャンなどを集会所や公園で週に2～4回実施。 始めた理由：・親睦と健康づくり・高齢者が外出する機会を設けるためです。 ・町内各位とのコミュニケーションを図るためです。



主な事業の分類	防災・防犯	環境	福祉	世代間交流	その他(組織の充実)
---------	-------	----	----	-------	------------

真鍋六丁目町会 **真鍋六丁目町会活動におけるわがまち活性化推進事業**

★活動内容

真鍋六丁目町会は、地域的共同活動を基本に、総務・環境・体育・福祉・安全・青少年育成の6委員会が、活性化推進実施項目を「定め」、「実施し」、実施結果を「確認し」、次に「反映させ」て行く(Plan Do Check Action)ことを、各々が「自主的に」行うことで、それぞれの分担任務を担い、町会構成員及び各支援団体の支持支援を受けながら、六丁目の全般的な活性化を図っております。

例えば、福祉委員会では、分担任務が地域福祉の企画運営・ふれあいネットワークへの協力ですが、活性化推進実施項目を敬老祝賀会の計画運営と定め、計画にもとづく招待状の配布、公民館での手作り料理の提供及びカラオケなどのイベントの実施後、これらの実施状況を確認及び検証した結果をもとに、高齢者が増加傾向であり公民館での開催が困難視されていることから、「時期や場所にとらわれず、屋外などを考慮した季節の良い時期での実施はどうか。」といったように、各委員会が、それぞれの事業をただ毎年実施するのではなく、次回、次年度の改善に向けたPlan(計画)、Do(実施)、Check(確認)、Action(改善)のサイクルを活用しています。

◆活動の成果

各委員会が分担任務を積極的に行い、円滑な運営を図ることで事業の種類全般に亘り、活性化が図られ、六丁目の目標である「六丁目に住んで良かった・これからも住んでいたい・さらに誇りの持てる明るくてきれいな住みよい町でありたい」まちづくりに大きな効果が現れています。



H17.10.31 常陽新聞より

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等 (アンケート調査票)

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	町会役員が一体となって実施しており、特に問題はありません。
事業を実施して役立ったこと	年間を通じて数々の行事計画、実施に各委員会が役割を分担し、実施しており、すべての行事が実施できています。
他町内会へのアドバイス	正しいもの、筋を通すものは継続し、改革する必要のあることは、みんなでお話し合い改善することです。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

荒川沖西二丁目町内会

元気に誰もが参加し、即見・即連・即応の出来る荒川沖西二丁目町内会

★活動内容

町内会を元気にしようをスローガンに、地縁・志縁で仲良くコミュニティ活性化を図っています。荒川沖西二丁目では、地域の課題に対処するとき、役員だけでは限界があることから町内会一丸となって取り組み、誰もが楽しい町内会を目指しています。

- ・地域安全…防犯パトロール隊による町内パトロール、防災訓練の実施、町内情報の回覧
- ・環境…違反広告物撤去、道路及び公園等の清掃
- ・青少年健全育成…小学生等の登下校時の安全確保

◆活動の成果

地域安全面では、自主防犯パトロールで監視を強め、犯罪軽減・撲滅の意識が高まりつつあります。昼間のパトロールに重点を置くことにより、子どもたちとの会話の接点ができ、皆が知り合う町内会となりました。

環境面では、町内一丸となって町内率先片付け運動を展開することができました。すぐやる連絡網を張りめぐらせ、即見（発見）・即連（連絡）・即応（対応）のできる町内会となっています。

また、何事も一つのことだけをやるのではなく、複数を同時進行で行っています。

福祉面では、楽しむ福祉を目指す町内会になりました。



「防災訓練」町民を避難場所へ誘導

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施して役立ったこと	①防犯パトロールを実施するようになって、町内情報がよくわかるようになりました。 ②小学生の登下校時の安全確保の意識が、子ども会、交番、町内全体の協力により、さらに高まっています。 ③防犯パトロール強化により、犯罪軽減、撲滅の意識が町内全体に広がりました。



主な事業の分類	防災・防犯	環境	福祉	世代間交流	その他
---------	-------	----	----	-------	-----

神立中央三丁目自治会 **地域生活 安心・安全確保の防犯活動**

★活動内容

地域で発生する諸犯罪等により、住民の生活環境は乱されてしまいます。このような状況を打開するため、安心して暮らせるまちを目指すことを目的として、地区役員・地区高齢者クラブ「やまびこ歩く会」のメンバーと協働した、組織的な防犯活動事業等を行っています。

- ・ 児童生徒下校時の防犯パトロール（8回/月）
- ・ 夜間時の防犯パトロール（1回/月）
- ・ 地区内防犯灯及び道路カーブミラーの整備
- ・ 違反広告物追放活動



パトロール隊巡回中

また、防犯パトロール隊の活動をお知らせするとともに【人との出会いの際はお互いに「一声」かけましょう】、【近所の連帯感を深めながら自分達の“まち”は自分達で守ることにしましょう】といった呼びかけを行う、自治会独自の回覧を行っています。

◆活動の成果

地区内の犯罪は減少し、住民の安心・安全意識が高まってきました。さらに、防犯活動等によりご近所間の連帯感が醸成され、町内の活性化が図られました。

実績：窃盗犯件数……………平成15～17年平均36件、平成18年17件に減少。

除却違反広告数……………58枚

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	内容を変更して実施している
変更した事業と内容	防犯パトロールは当初の昼・夜実施から、昼のみとしました。
変更した理由	地区内における犯罪件数が1件/月程度に減少したためです。
事業を実施するうえでの課題	地区の高齢化が一段と進み、交替要因の人選が課題となっています。
事業を実施して役立ったこと	・ 地区内の窃盗犯発生件数は当初の1/3に減少しました。 ・ 違反広告物追放運動を実施したことが、犯罪の防止に寄与しているものと考えます。また、まちの景観の改善にも役立っています。
新規事業について	事業名：いきいきサロン「健康吹き矢」 開始年度：平成22年度 事業の内容：地区公民館において高齢者対象とした「健康吹き矢」 始めた理由：高齢者の健康維持を行うとともに自治会員の交流を深め、自治会活動の活性化を図るためです。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

港町1・2丁目町会

桜川不動尊・港祭

★活動内容

港町標語「あいさつで笑顔あふれる港町」のもと、港町1・2丁目地域住民、港和会（老人会）、育成会、港会（青・壮年会）が一同につどい、祭事（御祈願）を行うとともに、餅つき、小学6年生に対する感謝状授与・ポスターコンテスト表彰、バザー、福引等の内容で、一日を楽しく過ごすことで、子どもから高齢者までの信頼、連携の強化に取り組み、世代間の交流を大いに図っています。

◆活動の成果

港祭を町会として行うことが、町会の中にある老人会から青・壮年会、育成会など、様々な会の連携をとる場、各会の活性化の場になっているとともに、子どもから高齢者までの多世代間の連携が大いに図られ、これらの連携をもとに、町会活動がますます活発になり、町内コミュニティの活性化が図られました。



「桜川不動尊・港祭」

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	当地区は、町費・繰越金・祭礼寄付等で、本事業のような100～150名規模の事業の費用をまかなうことができていますが、多額の費用がかかっています。
事業を実施して役立ったこと	町会の行事としては、不動尊祭・夏祭り・秋の体育祭が三大祭り（行事）ですが、不動尊祭が子どもから高齢者の方々までが集まることから、町会行事としては、一番コミュニケーションを図ることができています。
他町内会へのアドバイス	他町内も2～3地区から見学にお越しいただいておりますが、費用面や立地等も大きくかわりがあるので、それらの点をよく検討して下さい。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

国分町会

国分町 安心・安全のまちづくり推進

★活動内容

「安心・安全の町づくり」を目指し、防災訓練などを通じた、地道な活動により、安心・安全は「国分町みんなで」の機運が高まっています。



消火器点検

防災活動としては、国分町の各班の目立つ箇所に消火器を取り付けました。町内一丸となって取り付けられたため、町内のどこに消火器があるかを皆が知っています。

防犯活動としては、町内会と子ども育成会が協力連携し、地域防犯パトロールをより発展させた、「国分町スクールガード」を実施し、通学路見守り運動も積極的に展開しています。また、子どもたちとの登下校時にも「声かけ運動」を実施し、「誰々さんの子ども・孫」といえるようなコミュニケーションを図っています。

平成18年度より、高齢者宅マップを作成し、支援者情報を織り交ぜながら、「国分町は、何事があっても何事もわかる」を目指し、わがまちの活性化を進めています。

◆活動の成果

地域住民からは、消火器設置に対し、有事（火災・地震・事故等）の際、安心との声も聞かれ、防犯パトロール、スクールガード活動実施により、不審者も減少し、住民の安心・安全意識が高まっています。さらに、高齢者宅マップを作成することにより、ご近所間の連帯感が醸成され、町内の活性化が図られました。



高齢者宅訪問

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	内容を変更して実施している
変更した事業と内容	「スクールガード」は、地域ボランティアの送迎から、保護者が主になりました。
変更した理由	少子化で児童が極端に減少し、保護者の送迎のみで十分になったため。
事業を実施するうえでの課題	防犯パトロール」は、住民の高齢化とともにメンバーの若返り化が不可欠。
事業を実施して役立ったこと	「スクールガード制度」に参加すると、児童とガード・ボランティアをする者との間に信頼感が生まれ、町内でのあいさつ等が自然とできるようになりました。
他町内会へのアドバイス	小学生の下校時間が予定通りとならない場合があり、「学校⇒保護者代表⇒ガード・ボランティア」の密接な連携が必須です。
新規事業について	事業名：木工工作教室 開始年度：平成19年度 事業の内容：住宅建設現場で不要となった木材の切れ端を無償で譲り受け、夏休みの半日、「木工作品」作りを地域住民が指導。 始めた理由：ノコギリ等を用い、自ら物を作る機会がない児童達は、事業を通し、「無」から「有」を作る楽しさ、家族以外の近隣住民とのふれあいの場を提供することが目的です。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

桜ヶ丘町町内会

桜ヶ丘町 住民が築く安全なまちづくり

★活動内容

平成16年度から始めた土浦市「安心で安全なまちづくり」自主防犯組織づくりに賛同して、平成17年1月に「桜ヶ丘町防犯パトロール隊」を発足しました。

町内の防犯パトロール、小中学生の下校時に立哨を行い、子ども達の防犯・安全確保、町内行事に積極的に参加しています。

平成18年10月には「青色回転灯装備車」を導入・所有し、徒歩によるパトロールと併用することで、より効果的な活動を展開しています。



防犯パトロール

◆活動の成果

防犯パトロール隊発足時と比べ「窃盗犯認知件数」は、平成16年31件、平成17年21件、平成18年7件と減少傾向にあります。防犯灯が切れたままの状態や、点滅をしている状態がなくなり、長期放置自転車も減少し、住民の防犯意識の向上が図られています。

町内役員、高齢者クラブ桜会、小中学生育成会と共に「気楽に」「気長に」「危険なく」継続することが「安全なまちづくり」のモットーとして、町内会の活性化を図っています。



「防犯講演会」

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	パトロール隊員の高齢化と新隊員の補充。
事業を実施して役立ったこと	・ 町内の防犯意識の高揚 ・ 町内の安全確保



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

並木四丁目町内会

並木四丁目頼り頼られふれあい事業

★活動内容

地区集会所を拠点に、地域の環境を整え、住民自らが安心・安全な町づくりに積極的に参加し、地域にかかわる事業を通し、お互いの信頼感を高め、「頼り頼られる地域づくり」に貢献しようとするものです。

子ども育成会、健康クラブ（老人クラブ）等の連携による子ども広場の除草、整地、ベンチ作りや子どもたちを集めた民話を聞く会（紙芝居）、また、福祉事業としてのヨガ講座や転倒防止体操、環境美化事業として違反広告物撤去の許可を受けての撤去作業などを実施しました。

◆活動の成果

並木四丁目住民一人一人が、「頼り頼られの心と実践」を通し、将来にわたって、各種事業に積極的に参加することにより、地域の特性を把握し、よりよい町づくりへの貢献が図られています。



「民話を聞く会」四丁目集会所

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在は実施していない
事業を終了した理由	集会所を拠点として、各種事業を展開するも、時間の経過とともに、当初の目的も段々縮小し、現在は町内会事業、子ども育成会事業及び健康クラブ事業とそれぞれの展開となっています。
事業を実施するうえでの課題	住民の参加意識の有無。
事業を実施して役立ったこと	集会所の利用・活用の意識が高くなりました。
他町内会へのアドバイス	事業内容の全住民への公表及び情報伝達（一部の人達で実施することはよくないです。）



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

北荒川沖町自治会

より住みよい北荒川沖町創り

★活動内容

「より住みよい町創り」を目標に、当町内会独自の事業推進計画を定め、町民一人一人の考えを大切に、町民一丸で、環境整備、町内美化、防犯活動等を積極的に行っています。

～町内の美化～

- ・独自の「一点集中方式」によるごみ処理・防犯パトロール隊によるポイ捨てごみ回収作戦・子供会による廃品回収作戦・花いっぱい運動

～あいさつの励行～

(見知らぬ人にも一声を)



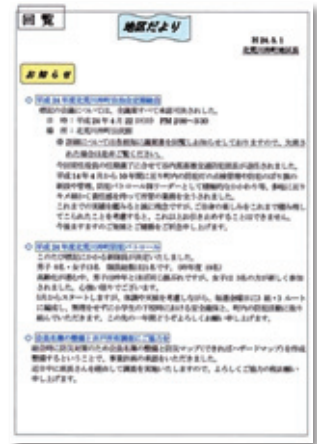
子供会による廃品回収作戦

◆活動の成果

他町内に例をみない「一点集中方式」によるごみ回収等町内の美化により、各ごみ集積場所に無造作に放置された回収不能のごみ類も姿を消し、町内美化に大きな成果をあげており、他町内会からも大いに注目されています。

あいさつの励行では、恥ずかしそうにあいさつをためらっていた子どもたちも、現在は自然体で、元気な気持ちよいあいさつを交わすことができるようになりました。

各事業とも、町民の協力と継続性を持った独自の事業展開により、実績成果があげられています。



地区だより

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	内容を変更（追加）して実施している
変更した事業と内容	①防犯対策（会員名簿の作成、防災マップ、井戸保有調査）【進行中】 ②きめ細かい地域情報の定期的発信（平成23年度から）
変更した理由	①東日本大震災の教訓を生かすため。 ②地域住民相互の情報共有
事業を実施するうえでの課題	全員参加型の事業は難しいです。
事業を実施して役立ったこと	継続していること。
他町内会へのアドバイス	地道な事業の推進。



主な事業の分類	防災・防犯	環境	福祉	世代間交流	その他
---------	-------	----	----	-------	-----

まりやま団地自治会 まりやま団地地域ぐるみ推進活動

★活動内容

- ①地域福祉と青少年健全育成に関する活動
 - ・高齢者福祉活動…各同好会の活動により福祉の向上を図っています。
 - ・あいさつ運動…昭和54年からあいさつ運動を継続しています。
- ②地域安全に関する運動
 - ・パトロール活動…平成19年9月自主防犯組織を結成し、毎日2回以上町内をパトロールしています。
 - ・防犯灯整備活動…蛍光式防犯灯から水銀防犯灯への更新
- ③環境に関する活動
 - ・清掃等整備活動…町内美化を目的に清掃の日を設定し、毎月全戸で、公園3箇所、清掃整備活動を実施しています。
 - ・花いっぱい運動…町内公園の一角に花壇を設けるとともに、各戸に花作りを奨励し、花の咲き誇る地域づくりを実施しています。

◆活動の成果

・同好会員合計150名がそれぞれの会において、融和親睦が図られ、諸行事を通じて切磋琢磨することにより福祉の増進が図られています。また、「あいさつ運動」の継続が、明るい町づくりに大きく貢献しています。



公民館清掃活動

- ・空巢等の犯罪がなくなり、また、不審車両対策として「路上駐車禁止の呼びかけ」により路上駐車が皆無となりました。水銀防犯灯への更新により町内が明るくなり、防犯対策に効果をあげています。
- ・清掃は地域に根ざした活動となっており、清掃日には全戸の町民が参加し、清掃はもとより親睦の場となっています。また、花いっぱい運動により、町内が明るくなり、公園に遊びに来る子どもたちも良い環境の中で気持ちよく伸び伸びと遊んでいます。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	①全ての町民にさらなる徹底を図る方策 ②予算（経費）の確保（いずれの事業を実施するにも先立つものは経費。少予算での実行には役員担当者等の創意工夫が必要となる。）
事業を実施して役立ったこと	①防犯パトロールの強化により犯罪がなくなり、路上駐車がなくなりました。 ②同好会が増えた（現在11同好会）とともに親睦の輪が広がりました。 ③清掃活動の充実を図ったことにより、町内が一段ときれいになりました。
他町内会へのアドバイス	①リーダーの選出が最も重要。（率先して行動する人をまず選出） ②無理な事業内容としないことが重要。
新規事業について	事業名：区分清掃活動 開始年度：平成23年度 事業の内容：従来の清掃は除草や掃き掃除の傍らで、草刈機による草刈りを実施していましたが、危険なため、午前8時～8時半を草刈機のみによる草刈作業、午前8時半～9時を除草か掃き掃除等の作業に区分した清掃活動としました。 始めた理由：危害防止のため（草刈機による石草飛散による怪我等の防止）



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他(連帯感醸成)

生田町町会

元気にふれあう生田町

★活動内容

転入者で構成され、近隣のつながりが少ない町内会を、子ども育成会が中心となり町内会を巻き込んだ大運動会を開催し、近隣同士の連携のきっかけづくりとしています。

また、子ども育成会を中心に生田クラブ、青年会が次々に結成され、町内一丸となって、「元気にふれあう生田町」がしっかり構築されました。

念願の生田町公民館が完成し、「生田町公民館まつり」を開催することにより、さらに連帯感を深めています。

- ・生田町公民館まつり
- ・一人暮らしの方への給食会

◆活動の成果

町内会を始めとし、紫峰会、子ども育成会、生田クラブ、青年会などの、すべての組織が協力しあい、公民館まつりを通して集合し、元気にふれあい近隣どうしの連帯感が大いに深まっています。

一人暮らしの方への訪問や給食会を実施したことにより、近隣どうしのつながりを礎に、手作り給食会の経験を引き継ぎ、各行事の食事を町会で作るなど、経費節減にもつながっています。



生田町公民館まつり

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	一人暮らしの給食会は参加者が減少しています。
事業を実施して役立ったこと	まつりへの参加を楽しみにしている方が増えています。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

蓮河原町内会

蓮河原町環境整備運動～ごみのない美しい水辺の町にしよう～

★活動内容

町の中心を流れる水路（旧桜川）が長年、空き缶・ペットボトル等家庭ごみの不法投棄・放置自転車・倒木・ヘドロ等が目立ち、地域住民が安心して暮らせる水路ではなくなっていました。

「自分たちで出来ることは何か？」を地域住民で話し合い、「自分たちの町は、自分たちで創る」を合言葉に、「蓮河原町環境整備運動」を実施しています。

- ・ 町内の環境美化啓蒙の一環として、旧桜川水路内のごみ・朽木等を撤去して、ごみのない美しい水辺の町内にしました。
- ・ 各班に、ごみ箱を作成・設置し、ごみ出しのルール・マナーの向上を図っています。



水路清掃活動中（朽木撤去）

◆活動の成果

水路は見違えるようにきれいになり、「水辺の町蓮河原の風情」が大いに出てきました。

何よりも、清掃奉仕活動により、地域住民のコミュニケーション・連帯感が非常に深まりました。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	①川の泥が深く、水草（マコモ）の撤去ができないことです。 ②朽木が大きく、切断しても引き上げることができないことです。
事業を実施して役立ったこと	旧桜川及び水路に対する、地域住民の環境美化に対する意識の変化が見られたことです。日頃から見張りを行い、ごみ及び不法投棄されているものがあると、住民一人一人が、自主的に取り除く風習が付き、環境美化向上に積極的に取り組んでいます。
他町内会へのアドバイス	地域住民全体で取り組むことが大切ですが、少人数でもよいので、一人一人が日頃から見張りを行い、ごみ及び不法投棄があれば直ちに注意・通報することです。このことにより町内からごみ等を一扫することが、環境美化の向上につながり、住民間のコミュニケーションと連帯感が深まります。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

中高津一・二・三丁目町内会

中高津 安全・安心まちづくり事業

★活動内容

中高津地区は、窃盗犯などの犯罪が多発傾向にあり、住民からは不安の声もあがっていたため、「犯罪のない安心して暮らせる地域社会の実現を目指そう」、「自分たちの街は自分たちの手で守ろう」と町内会総会において「中高津自警団」を平成16年6月に発足させ、地区長のもと、団長ならびに各丁目ごとに副団長を配し、「気軽に・気長に・危険なく」をモットーとして活動しています。

また、「コミュニティ力が犯罪を防ぐ」との意見からあいさつ運動も展開してきました。

- ・徒歩巡回パトロール・青色パトカーによるパトロール
- ・あいさつ運動の推進（行き交う人々、小・中・高生たちとの）
- ・高齢者サロンでの防犯講話・窃盗犯発生状況等の情報発信活動
- ・町民への防犯意識、防犯情報などの広報

このほか、平成19年度には、「地域安全安心ステーション」モデル事業実施地区に選定され、安全安心のまちづくりに積極的に取り組んでいます。



中高津自警団

◆活動の成果

パトロールの姿を多く見せることで不審者への抑止や、住民自身への安全意識の高揚に努めたことが功を奏し、町内における犯罪は減少に転じ、平成19年は平成16年に比較するとマイナス50%という状況でした。

また、住民の自警団に対する理解が深まったほか、発足後に推進してきた「あいさつ運動」が地域全体に浸透し、地域の人と人のつながりを深め、児童・生徒はもとより住民との会話が活発になる等、地域における連帯感が醸成され、まちづくり活性化に大きく貢献しています。

さらに、割れ窓理論を応用して「きれいな街は犯罪者を寄せ付けない」として町内のごみ拾い、雑草刈り、公園・空き地の点検など環境美化にも積極的に努めています。

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ状況で実施している
事業を実施するうえでの課題	人員の確保。継続すること。
事業を実施して役立ったこと	刑法犯の減少。
他町内会へのアドバイス	無理なく、気長に。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

中村東町々会

中村東町親睦会

★活動内容

「中村東町親睦会」は平成8年度から実施し、継続されています。

地域福祉・地域安全・青少年健全育成の観点から、町民相互が“顔見知り”になれる場を町内会として提供するとともに、町内会の円滑なる運営のために班長を中心とした、親睦・連携の促進を図っています。

ソフトボール、ストラックアウト、ドッジボール、輪投げ、ヘルシーボール、バーベキュー、餅つき、豚汁、焼きそば、ビンゴゲーム、餅まきなどにより、大人と子どものふれあいの機会が増えています。



ソフトボール大会

◆活動の成果

新住民が多いため、様々な行事を行うことによって、回を重ねるごとに、“顔見知り”も増え、道で会ってもあいさつ、話をする機会がとて多くなり、地域住民の連帯感が着実に根ざしつつあります。

お年寄りから子どもまで“顔見知り”になることにより“いざ有事”の時の助け合い、子どもが悪さをした際に、叱ることのできる地域住民、そのことが青少年の健全育成につながってきています。



子どもたちも大喜びバーベキュー

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	内容を変更して実施している
変更した事業と内容	①ソフトボールを取りやめ、ヘルシーボールを実施。 ②防犯防災〇×クイズを実施。
変更した理由	①ケガの危険性が低く、多くの世代が一緒に楽しめるため。地域（ブロック）ごとの対抗戦が組みやすく、参加者の結束と連携促進が期待できるため。 ②老若男女全世代が、クイズを通して楽しみながら防災や防犯、地域情報などの知識を得ることができるため。
事業を実施するうえでの課題	なるべく多くの世代が自ら参加して楽しめるイベントを企画実施することです。班の集合体として「ブロック」の存在認識を高める工夫が必要で、結果、ブロック対抗形式のイベントを増やしました。
事業を実施して役立ったこと	住民相互のコミュニケーション促進という初期目的は達成され、自助共助の意識高揚に向けた、第二ステージへの転換が図れました。
他町内会へのアドバイス	複数イベントを安全かつスムーズに並行実施するため、準備と企画プロデュースするスタッフの育成が必要です。
新規事業について	事業名：ボーリング大会 開始年度：平成22年度 事業の内容：町内にあるボーリング場にて住民個人参加による個人戦。 始めた理由：町会25周年記念事業の一環で冬場のイベント閑散期の世代交流を目的に開催したところ、好評につき継続事業として継続させました。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

神立中央五丁目自治会

「明るく、声掛け合う町」次百（つぐも）事業

★活動内容

～次の百点満点・及第点を目指して～

・地域安全…防犯パトロール

神立中央五丁目自治会では、町内の皆さん全員に防犯・防災意識の普及及び向上を図るため、「安全・安心のまちづくり」を事業方針の第一に策定し、平成16年10月に防犯パトロールを町内全員参加型（1組20名24組）により開始、その後、小学生の登下校の安全を守るために平成18年9月から「スクールパトロール隊」を結成し、継続して活動しています。

・地域福祉…サロン伍楽（ごらく）（高齢者のための生きがい対策活動）

自宅から歩いて行くことができる場所で、介護予防の生きがい健康体操、手首の機能訓練を兼ねた趣味の創作活動、軽食を囲んでの気軽な茶飲み話などに興じながら、引きこもり防止と仲間づくりを進めています。



介護予防の健康体操（サロン伍楽）

◆活動の成果

地域安全については、全員参加型のパトロール中の会話、声かけ、あいさつにより、顔見知りが増えました。また、この様な町内融和の中でスクールパトロール隊が発足し、小学生からあいさつの声も気軽にかけてくれるようになりました。

地域福祉については、主婦ボランティアグループを町内で募集し、住民による住民のための町づくりの実践活動を心がけて、住民参加の福祉が組織化されました。今後は利用の拡大を図っていきたいと思います。

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	子ども見守りのスクールパトロール隊です。結成以来7年、見守り時間帯が下校の午後3時～4時のために、若い大人は望めず70歳前後の方々が多く、年齢的に交代時期に来っていますが、交代要員確保にここ1、2年苦労しています。地域福祉活動（例：サロン伍楽）も、4・5年後には同じ交代時期を迎える事を予期して、新しいボランティア確保を念頭に運営していく事が肝要だと思います。
事業を実施して役立ったこと	町内防犯は、町内全員参加型なので近所のあいさつ・付き合いがスムーズになり協働の雰囲気が自然とできています。地域福祉活動は、主婦ボランティア10名の皆さんが、五丁目の諸行事（例：祇園祭・敬老会・市民体育祭・五丁目公民館まつり・新年会等々）に料理を作り、並べ、後片付けと大活躍しており、文字通りの次の百点を目指して頑張っており、次百（つぐも）事業になっています。
他町内会へのアドバイス	町内会の行事を開催している時、ボランティアに協力してくれそうな人を見つけるために町内会の区長・役員さんは、スカウトの目を怠らない事。（以前よりボランティアをする人が減少している。何事も同じ人の参加が多いです。）
新規事業について	事業名：図書貸出し事業 開始年度：平成20年度 事業の内容：平成20年4月に五丁目公民館新築（図書室有）供用開始に合わせて、五丁目の子どもたちに図書の貸し出しをするため、町内で貸出できそうな古本を廃品回収、また、この時に合わせて、新刊書の購入をもってスタート。第2・4土曜日の午後1時～4時が貸出日。町内を24組（一カ月を2組で受け持つ×12カ月＝24組）に分けて町内全員参加型のサステナブルな運営。 始めた理由：本を読まないと言われていた子どもたちに、本（文字）に慣れ親しんで貰いたいためです。マンガ的なシリーズ本の人気があります。



主な事業の分類	防災・防犯	環境	福祉	世代間交流	その他
---------	-------	----	----	-------	-----

まりやま新町自治会 **安心・安全まちづくり**

★活動内容

◎地域安全…地域の安全確保のため次の活動を行っています。

- ・防犯パトロール隊を組織し、午前1回午後2回のパトロールを実施。また、定期的に意見交換会を実施し、活動に役立てています。
- ・町内広報誌により違法路上駐車をなくす啓蒙活動を実施しています。
- ・住宅用火災報知器について、既存住宅の義務化（平成23年6月）に先駆けて全住民に呼びかけ、共同購入し、平成19年2月に全戸に設置しました。
- ・「防災訓練」、「防犯講話と懇談の会」を毎年実施しています。

◎青少年健全育成…世代間交流、登下校時の児童安全確保のため次の活動を行っています。

- ・夏祭り盆踊り大会・餅つき大会・どんと焼などの行事を行い、また、地域で行われる運動会や各種球技大会にも積極的に参加し、各世代が親しく触れ合う機会を多くしています。
- ・小学校児童の安全を守るため、下校時に付き添うボランティアを組織し、毎日児童の学年別下校時刻に合わせて、付き添いを実施。また、定期的に意見交換会を実施し、活動に役立てています。

◆活動の成果



下校時の付き添いボランティア

地域安全では、一昨年、昨年ともに住宅侵入未遂事件2件の発生にとどまり、車上あらしは未発生、違法路上駐車は、ほぼなくなりました。毎年、防犯パトロール隊の参加人数は増加しています。

青少年健全育成では、各行事に積極的に小学生・中学生が参加しており、子どもたちに感謝の気持ちが芽生え、ボランティア活動を自然と理解し健全な成長の一助となりました。また毎年、下校時付き添いの参加人数は増加しています。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	①活動資金の確保 ②夜間防犯パトロール協力者の確保
事業を実施して役立ったこと	平成21年9月に留守宅で鍋の火の消し忘れて煙が充満し、火災報知機が作動。消防隊員が扉を破り、消火することができました。
他町内会へのアドバイス	まりやま新町の防犯パトロール実態 ①ノルマは一切なし。自由に好きな日、時間にできます。 ②夜間パトロールは拍子木を鳴らして（犯人との出会いをさけるため）赤色灯を持ち、携帯電話は持つようにします。（時間は午後6時～11時）
新規事業について	事業名：町内花いっぱい運動 開始年度：平成21年度に面積拡大事業の内容：道路沿い約200m 丘の上の空き地（約500坪）を借上げ、ひまわり・コスモス・チューリップなど。 始めた理由：積極的な方がいて、その後協力者が増加しました。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

真鍋一丁目町内会

地域安全と環境美化

★活動内容

～防犯パトロールとつくばりんりん道路の清掃～

「町会全体で守ろう地域の安全」をスローガンに町内会と各種団体が協力連携し、「スクールガード」及び「夕方と夜間の防犯活動」を積極的に実施し、安心安全体制（地域防犯活動）をより発展させています。

工夫したところは、防犯パトロールを行うと同時に、新川沿いやつくばりんりんロードのごみ拾いや空き缶拾いなどを行い、町内を歩行する「健康ウォーキング者」がケガをしないように清掃活動と一声かけ運動を行っているところです。

◆活動の成果

町内全体の取組により、町内の連携が大いに強化され、犯罪抑止の効果が現れています。

また、きれいになった新川沿いやつくばりんりんロードでは、ゴミのポイ捨てが減少し、結果として、町内全体がきれいになりました。

りんりんロードの歩行者とのふれあい交流が広まり、地域の方との結びつきが深まろうとしています。



りんりんロードの清掃活動

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	内容を変更して実施している
変更した事業と内容	防犯活動中の清掃活動の範囲を新川沿いや、つくばりんりんロードを町内全体に拡張しました。
変更した理由	町内全体の防犯パトロールをしているので、清掃活動も町内全体としました。
事業を実施して役立ったこと	①町内の連携がより強化されました。 ②町内全体がきれいになっています。 ③3.11の東日本大震災時は防災組織と防犯組織者の重複者が多いため、町内全体の安否確認、家屋の被災状況等が短時間で把握できました。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他(情報の共有)

並木二丁目町会

「町会だより」による情報の共有化

★活動内容

並木二丁目町会として、町内会の「ガラス張り運営の推進」によって、町内会に対する共有感を住民に深めてもらい、住民の連帯の強化と町の活性化を目指しています。

その一策として、タイムリーに「町会だより」を発行し、町内会運営に関する積極的な情報の開示と伝達に努め、情報の共有化を図っています。

◆活動の成果

昭和40年代から50年代にかけて新しい住民が増加し、今の町内会が形成されましたが、共同体の意識が低く連帯感も希薄な中でスタートでした。

このため、オープンな町内会運営と諸行事への参加を呼びかけ、健康クラブや防犯パトロール隊が結成されました。

これらの活動を後退させないために「町会だより」を発行した結果、住民の町内会運営に対する認識、理解が深まり、町内会の諸事業への協力者、参加者が増加しています。

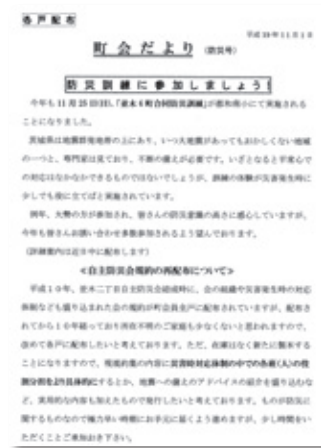
また、相乗効果として、健康クラブや子供会育成会の活動も活発となり、事業への参加者が増えています。

さらに、「町会だより」に、住民からの声や注文が寄せられるようになっており、住民の連帯感が確実に深まってきています。

町内会での情報の共有化が推進され、町内会運営に対する理解が深まりました。



並木6町合同防災訓練



町会だより (防災号)

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等 (アンケート調査票)

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在は実施していない
事業を終了した理由	回覧板を配布時に、表紙に必要と思われる事柄(町内行事等)については、記載しているためです。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他(事業の拡充)

西並木町会

独自のお祭りを核とした心が通う町づくり事業

★活動内容

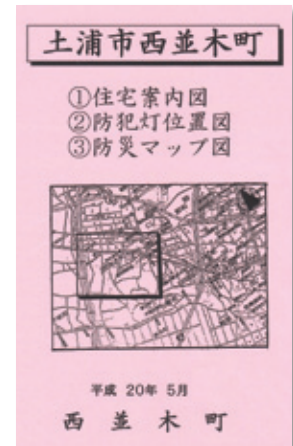
西並木町会では、従来から町内会活動の原点を町内融和と相互親睦の増進が第一であることを心構えとして町会活動を行っています。

このため、町内行事など集まりの後は、必ず雑談会を行うなど参加者の本音を聞く努力をしています。その目的はいうまでもなく、町会活動の円滑な運営と住民の意に沿った活動を行うためです。

そして、その中核となっているのが、準備等を含めると半月以上をかけ、住民の大半が参加する「お祭り」です。お祭りによって町内の絆は一層深まり、町内活動に活力をもらっています。まさにお祭りは町内活性化の起爆剤です。

◆活動の成果

- ・お祭りや集会後の雑談から作成された「住宅案内図・防犯灯位置図」はコミュニケーションの向上に役立っています。
- ・お祭りを機に誕生した「西並木グランドゴルフ会」は、お年寄りを生き生きさせています。
- ・お祭りにおける「都和病院への慰問巡行」は地域福祉の増進に役立っています。
- ・お祭りは青少年の健全育成に役立っていますが、青年層の多い「西並木ゴルフ会」もその一端を担っています。
- ・市民体育祭での総合優勝なども町内が一体となった効果の現れです。



防災マップ



都和病院で獅子舞など披露

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	お祭り関係では、子どもまつりでありながら、子ども（小学生）が少ないこと。
事業を実施して役立ったこと	①コミュニケーションの向上 ②市民体育祭等、役割依頼等についてもスムーズに進行します。 ③3年前より実施している花壇作り（花いっぱい運動）は健康クラブ会員が多数参加し、今年は優良賞を受賞いたしました。



主な事業の分類	防災・防犯	環境	福祉	世代間交流	その他
---------	-------	----	----	-------	-----

大手町町会 「健康と支えあい」 でいきいき安心安全な「まち」づくり

★活動内容

～いきいき安心して暮らせる「まち」づくり～

- ・防犯パトロールの強化による犯罪の防止。
- ・「大手町だより」による健康な生活の喚起。

～住みよい環境づくり～

- ・道路や歩道橋の清掃作業を行っています。
- 今後、花壇の植栽箇所を増やす方向です。

～思いやりと支え合う「まち」づくり～

- ・町民が丸となったの祭りの参加を通して、夏のラジオ体操(子どもから高齢者まで) 「すこやか」大手町だより 町民の親睦と世代間の交流を深めています。



◆活動の成果

- ・防犯パトロールの強化により町内の空き巣、窃盗、振り込め詐欺などの被害が減少しています。
- ・「大手町だより」により四季折々の健康情報を発信し、健康そして長寿に役立っています。
- ・体育祭、歩く会、健康まつりなどに積極的に参加し、健康と若さ維持に役立っています。
- ・祇園祭の参加で子どもから高齢者まで世代間交流が活発化し、思いやり、支え合う気風が日常化しています。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等 (アンケート調査票)

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施して役立ったこと	受賞した事業は、その後も引き続き実施しており、改善・充実し、受賞時の事業名のとおり町内の絆づくりに役立っています。上記以外で、それ以前から実施されている事業の一端は、納涼祭(大手倶楽部主催、子ども育成会の母親たちがお手伝いする一大行事。10年以上継続。)、夏休みラジオ体操会(町内会、高齢者クラブ、子ども育成会、いきいきサロン大手町共催、平成24年度で8年目。8月下旬の11日間、一中地区公民館の前庭で実施。昨年度は、幼稚園児から高齢者まで延べ 400名以上が参加)、町の廃品回収(子ども育成会、2カ月に1回実施、数十年の実績があります。)
他町内会へのアドバイス	大手町には、町内会の下部組織として、大手倶楽部(青年層、壮年層)、高齢者クラブ(2組織)、子ども育成会・母の会があり、それぞれが自発的、自立的に事業(行事)を企画・運営しています。逐次事業(行事)内容は見直され、新しい雰囲気でも継続実施されていますので、町民に喜ばれています。各組織が主催する行事については、他の組織も必要に応じて協力し、「町の絆」を深めています。行事に参加する町民は、顔見知りになり、子どもも大人もあいさつ、声かけできる間柄になっています。地区長(昨年度交代)は行事のあいさつで、「住んで良かった大手町にしよう」と声をかけています。そのため、町内各組織もそのスローガンを意識して事業(行事)を企画・運営し、活性化しています。町ぐるみの活動(行事)は、役員会、町内会総会の議決を経て実施されることは勿論です。
新規事業について	事業名: ①～③ ①祇園祭(当番町内の前年)(大手倶楽部がリード) 事業年: 平成20、24年 ②いきいきサロン大手町(市で第1号)(町内有志がリード) 開始年度: 平成20年度 ③高齢者のための交通安全教室(高齢者クラブがリード) 開始年度: 平成23年度 始めた理由: ①～③ ①祭は町内の各組織を総動員し、町内一丸で「住んでよかった大手町」を具現化。 ②世代間交流に役立つことを指向。町内に浸透するよう努力中。 ③今後は、認知症患者との接し方、振り込め詐欺対策等を継続企画。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

天川一・二丁目町内会

天川町内の高齢化対応策

★活動内容

高齢化が進む中、町内の高齢者は、じっとしてはいけません。天川町内の人口を見てみますと合計2,272人、世帯数945件、その中で60才以上856人（38%）とますます高齢化が進んでいます。

また、一人暮らしの高齢者が65人と大変多いように思います。このような、天川町内「超」高齢社会を迎えるにあたり、やることは一つ『自分の体は自分で守る』という姿勢をもつことです。

天川一・二丁目を拠点として、地域の住民とボランティアが一緒に企画運営を行い、楽しい仲間づくりの活動を目的とします。

- ①気楽に誰でも（高齢者・障害者・地域住民）
- ②楽しくなんでもできる（健康体操・歌の勉強・講演・ふれあい・会食）
- ③無理なくお金をかけず（長続きの秘訣）



健康体操「いきいきヘルス体操」

◆活動の成果

町内の皆様が現在一番困っていることは何かと調査したところ、腰痛・肩があがらない・つまずくことが多くなったとの声が多くあり、いきいきヘルス体操をいち早く取り入れ実施したことにより、天川に来る救急車の数も少なくなったと言われています。「ふれあい」事業を通じて人と話し、笑って、歌って、声を出すことが適度な精神的刺激となり、夢と希望と生きがいを感じて、長生きして良かったと思う気持ちになってもらえました。

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	高齢者クラブのどの事業も参加者が減少しているため調査を行いました。 ①天川の高齢者が60歳以上38%と超高齢化が進み、楽しいことが少ない。 ②腰痛・肩があがらない・つまずく等の声があり、出歩くのがおっくうである。 ③一人暮らしの高齢者が65人と大変多い、閉じこもりがちになっている。 これらの対応策として、“天川ふれあい円（まどか）クラブ”を立ち上げました。
事業を実施して役立ったこと	・事業の実施内容は、要介護にならないために… ①いきいきヘルス体操（介護予防のいっぽつ体操・童謡玄米ダンベルにぎにぎ体操・丹田呼吸法等）実施、体が軽くなった、痛みが取れたと、口コミで会員も増加しました。月1回実施→月2～3回実施に増やしました。 ②童謡・歌謡曲・カラオケ等実施、歌って、笑って、大きな声を出すことが適度の精神的刺激となり、夢と希望と生きがいを感じて、長生きして良かったと思う気持ちになってもらえたこと。（歌の本も5冊になり新曲に挑戦） ③教養講座を実施（DVD鑑賞「昔と今」・悪徳商法への対処法等） ④グルメ旅（一度は行ってみたい帝国ホテル、ホテルオークラ、ブドウ・サクランボ狩り等）を実施すると会員の笑顔が絶えず、生きている実感を湧かせます。 ⑤一人暮らしの高齢者が天川では65人と大変多く、会員でもある民生委員3人のご協力もあり、参加を勧めていただき、閉じこもり防止を同時に図りました。 ⑥グラウンドゴルフを通じ足腰を鍛え、途中で会話をしつつ、楽しくできました。 ⑦公民館に来て、趣味等共通の話をしながらお互いに元気を分かち合える、円クラブに来てよかった、また来ようと思ってもらえるようになりました。
他町内会へのアドバイス	①割り切ってボランティアに徹することができる人が役員になるといいですね。 ②その町内で一番困っていることは何か知ることが大事です。 ③実施場所を固定化することで、会員の方が安心します。
新規事業について	事業名：演芸の祭典（年1回） 開始年度：平成23年度 事業の内容：カラオケ・民謡・舞踊・民謡踊り・詩吟・コーラス・楽器の演奏・ビンゴ等全員参加するため班で得意なものを実施。 始めた理由：全員色々な趣味があり、また、習い事をしており、発表の場を作ることで、色々勉強して考え、生きがいを感じて本当に長生きしてよかったと、会員の皆さんと一緒に笑っておしゃべりして楽しく過ごしてもらおう狙いです。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他(情報の共有)

荒川沖東一丁目町会

みんなで住みよい町会創り

★活動内容

よみがえれ！ 東一丁目を目指し“明るい町会 楽しく みんなで運営”を町会スローガンとして、町民の交流を密にして後継者の育成を含めて「住みよい町会創り」を目指した活動を行っています。

・青少年健全育成

郷土愛や地域の思い出づくりを目的として、荒川沖小学校5年生の田植え・稲刈り体験、荒川沖東の夏祭り（東一・二・三丁目共催）や盆踊り大会などを実施しています。

・地域安全

荒川沖駅の事件以来、安全意識が一段と高まり、防犯のほか防災も含め、こども110番の家、防犯パトロール中の独自の幟旗の増設、防犯パトロール隊・防犯協力隊による活動、荒小PTA作成の「防犯ステッカー」への協力、防災組織と防災訓練活動など安心安全対策を行っています。

・より良い町会を目指して

町会行事や町会に目を向けてくれない方への対策として、町会報“東1だより”を発行しています。

◆活動の成果

青少年の健全育成、地域安全、町会報の発行などの事業効果により、町民の理解が得られはじめ、町会行事への積極的な参加意識が旺盛となり、「住みよい町会創り」にも徐々に効果をあげています。



荒川沖小学校5年生の田植え

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施して役立ったこと	町内の理解・協力が深まり、効果をあげています。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

中村南一丁目町内会

「中村南一丁目町内会」事業 —あったか地域おこし隊—

★活動内容

高齢者の生きがいや健康づくりを進めるとともに、子どもや親たちとの交流を進め、地域の絆を深めています。

- ・ 地元公民館で実施している、高齢者サロンや育成会がつどうサロンを併合させ、月1回高齢者と子ども会とその親たちとの交流事業を実施しています。
- ・ 夏休みのラジオ体操（親子、おじいちゃん、おばあちゃんと多世代で元気に参加）
- ・ 夜警（拍子木を打ち鳴らし「戸締り用心・火の用心」と連呼しながら、子ども、お母さん、おじいちゃんたちも町内を巡回）
- ・ 夏祭り ・ 敬老を祝う会 ・ あいさつ声かけ運動 ・ 環境美化運動

◆活動の成果

多様な行事も、回数を重ねる毎に、地域住民のふれあい、支え合いにより人と人の繋がりが自然に成り立ち、明るくたくましい子どもたちが育まれました。

お祭りを通して、コミュニケーションが生まれたことで「思いやる心」を取り戻し、連帯感を深めることで住民の親睦と連携も図ることができました。

敬老を祝う会では、子どもたちを温かく見守り育て、高齢者を大切に、世代を超えた交流ができました。

私たちが生まれ育った愛着のある町は、「自分たちの町は自分たちが守る」「自らの安全は自らが守る」を心構えに、自主防犯活動では犯罪抑止に、防災では一人ではなく地域の人たちが協力し、ご近所で助け合う事が大きな力となることをいつも訓練し、防犯防災についての意識の向上など地域住民の一本化が図られています。



「絵手紙」のプレゼント



中村南一丁目「敬老を祝う会」

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	内容を変更して実施している
変更した事業と内容	月1回高齢者と子ども会とその親たちとの交流事業
変更した理由	月1回の実施は困難でした。ただし夏祭り、敬老会等を世代間交流のために子ども育成会の積極的な参加などを充実させました。
事業を実施するうえでの課題	高齢者の事業への参加者の確保。
事業を実施して役立ったこと	各事業を実施することで、町内の人たちがお互い顔見知りになりました。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

真鍋二丁目町内会

公民館を拠点とする多様なコミュニティ活動

★活動内容

真鍋二丁目町内会は、町内を挙げて募金活動を行い、5年前（平成15年度）に念願の公民館を建設しました。その公民館を生かし、町内会が一体となって、世代を超えた、住みやすいまちづくりのために、多様な事業を推進しています。

事業の内容は、高齢者クラブ、花見会、公民館の一般開放、女性グループ「さくらんぼの会」、町内会以外のグループとの交流など、二丁目独自の活動を、公民館を拠点として実施しています。

◆活動の成果

町内会全体の取組により、住民同士の親睦・交流が進み、各種行事や清掃活動への参加者が増加し、住みやすいコミュニティづくりが進んでいます。



新川堤お花見会「茶席」

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	公民館を多くのグループが利用するため、管理面でのルーズさが見られます。しかし管理を厳しくすると、利用しづらくなる面もあり、課題になっています。
事業を実施して役立ったこと	町内の各グループ（子ども会、育成会など）が、公民館を利用して活動する機会が多くなりました。
他町内会へのアドバイス	町内の子ども達や、高齢者に視点を当てて、地道に無理をしないで実施すること。
新規事業について	事業名：青年会のお囃子練習 開始年度：平成23年度 事業の内容：今まで真鍋のまつりの2カ月前くらいから、「二丁目囃子保存会」が練習を開始していましたが、年間を通して、毎月定例で、青年会が練習するようになりました。 始めた理由：「お囃子」を町内会全体で伝承するためです。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

菅谷町町内会

みんなで造ろう 住みやすい町づくり

★活動内容

～町内の活性化と一体感の充実・住みやすい町づくり・町内の安全化～

- ・子どもから高齢者まで一体となって、市民運動会、夏祭りに参加し町内のコミュニケーションを図っています。特に市指定の民俗文化財になっている「菅谷ばやし」は子どもと大人が一体となって努力し、お祭りを盛り上げています。
- ・班毎に防犯パトロール班を編成し、自分の班は自分たちで守るため、パトロールを実施しています。
- ・自主消防団が月1回町内を巡視し、防災と防犯の指導を実施しています。・福寿会のメンバーにより鶴沼公園の清掃と物故者のお墓参りを実施しています。
- ・福寿会及びPTAによる学校への通学時交通指導とあいさつの指導をしています。



清掃活動メンバー



鶴沼公園の清掃活動

◆活動の成果

- ・清掃活動により鶴沼公園がきれいになりました。
- ・新旧のこだわりが少なくなり、お互いの協調性が高まりました。
- ・防犯パトロールの実施により各班内のコミュニケーションが良くなったこと、さらに犯罪件数が0になりました。
- ・小学生が元気にあいさつするようになりました。

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	内容を変更して実施している
変更した事業と内容	自主消防団が月1回町内を巡視し、防犯・防災の指導をしていましたが、現在は月1回の可搬式消防ポンプの点検と防火水槽点検除草を実施しています。
変更した理由	自主消防団員の減少によるものです。
事業を実施するうえでの課題	特にありません。ただし自主消防団から団員が年々減少しているので事業継続ができなくなる恐れがあるとの意見がありました。
事業を実施して役立ったこと	町民のコミュニケーションが取れるようになり、協調性が生まれました。
新規事業について	事業名：夏祭り 開始年度：平成24年度 事業の内容：各種団体の長、町役員で実行委員会を組織し、子どもから高齢者まで参加して町内を山車が巡行します。 始めた理由：毎年八坂神社の祇園祭に御神輿と余興として山車（車載）の巡行を氏子総代が主催し、執行は行政班が持ち回りで実施していましたが、昨年、今年と御神輿のみで、山車の巡行は執行班員の高齢化、人手不足により行いませんでした。このことから氏子総代と町役員で今後の山車巡行について検討し、町民のより一層の融和と協調性等を醸成するため、山車（車載から牽き手にする改造実施）の巡行の実行委員会を各団体の長と町役員で立ち上げ、実施しました。



主な事業の分類	防災・防犯	環境	福祉	世代間交流	その他
---------	-------	----	----	-------	-----

立田町 **地域安全と環境美化に関する活動**

★活動内容

～防犯パトロールを2つの班編成で実施～

- ・ 第1班（毎月第1第3日曜日17時30分より町内全域をパトロール）巡回する際ごみ袋を携帯し、新川沿いや地域内路上の清掃活動を実施しています。
- ・ 第2班（毎週水曜日19時30分頃パトロール）冬期間は火災予防を喚起する拍子木を打って巡回しています。



拍子木を打って巡回中(第2班)

◆活動の成果

- ①より多くの人がパトロール活動に参加しやすくなるため、実施日、時間等を別々に2つの班を設定しました。これによりお母さん達の参加が進み、徐々にパトロール活動が地域に根ざした活動になってきています。また、この1年間地域内での事故等もなく、地域安全保持に寄与できました。環境美化についても新川沿いや地域内路上のごみ拾いを月2回実施しているので清掃効果があがっています。
- ②多様な伝承行事や年中行事の実施を通し、住民同士が知り合い、コミュニケーションが図られ、高齢者から子どもたちまで交流が円滑になりました。特に子どもたちは、各種行事により、町内への愛着心の高揚、ふるさと行事の伝承につながっています。



清掃活動を行う第1班

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	内容を変更して実施している
変更した事業と内容	今までパトロール活動に参加してきた人は、役員他一部の町民でした。これを改め町民全員でパトロールを行う計画をしました。一世帯が1年に6回参加目標その他役員グループ、青年会グループも行うこととしました。
変更した理由	①町民全員の意識高揚を図るため。 ②町内行事の全員参加により、町民同士の団結を図るため。
事業を実施するうえでの課題	高齢者の一人暮らしの家庭が多く、全員参加が難しいことです。
事業を実施して役立ったこと	今まで、あまり顔を合わせない人同士のふれあいがあり、今まで以上に町内融和を図ることができました。
新規事業について	事業名：①町内花見会 開始年度：平成24年度 ②立田町通信の発行 開始年度：平成23年度 事業の内容：①土浦さくらまつりに合わせ、公民館にて、お茶の接待及び町民で趣味・特技をもった人々が写真、絵画、パッチワークの展示会を行う。（町内会の交流を図る） ②町内行事、行動記録をまとめ、回覧。 始めた理由：①町民全員のふれあい、協調を図りたいためです。 ②町民が、町内行事等の情報共有化を図りたいためです。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

真鍋三丁目町内会

町内公民館を拠点とする多様なコミュニティ活動

★活動内容

町内の安全・安心そして町内の活性化が図られ、みんなに真鍋三丁目は良い所であるといわれるような町づくりを目指し活動しています。

主な事業を紹介します。

①鍋まつりの開催

これまでは全員参加できる行事といえば、8月に行われる「真鍋まつり」、10月に行われる「市民体育祭」という広域イベントの参加でした。そこで三丁目独自の事業（鍋まつり）を行う事としました。（毎年2月第1週日曜日）これを行うに当たり、老人会より150人分の芋煮用大鍋が寄贈されたので、それを目玉に、付帯イベントを実施して多数の方が気軽に参加できるように、2月に「明神囃子」と「ギター演奏」を行いました。

②環境整備、美化

年に一度の「ごみゼロの日」運動の他に、重点地域の一斉草刈り清掃を実施しています。また、ごみの不法投棄の目立つ箇所には、堅牢なる収納箱を設置して投棄マナーの徹底を図っています。今後の運動は側溝清掃を地域の方の協力により実施して、水はけの良い三丁目にすることを目指しています。

③防犯パトロールの実施

発足後五年を経過、定着しています。

立地的にも他町内に比べて事故件数は少ないですが、空き家が多く不安要素が多いので、壮年会への動員を行って、隊員・頻度の増強を進めています。



防犯パトロール隊

◆活動の成果

4・5年前に比べれば町内の老若男女層の多数の参加意欲が感じられて、活性化の実をあげています。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	①鍋まつり…付帯イベントを何にするか。 ②草刈り………地主の了承取扱い。
事業を実施して役立ったこと	鍋まつりが定着してきており、多数の方が楽しみにしています。料理（豚汁、おにぎり、焼き芋）のみで煮き付けるのはなかなか難しく、やはり付帯イベントであります。これまでは歌謡ショー、尺八演奏、マジックショー等々でしたが、町内、市内には、各種のセミプロ級がいるものだと、再発見することができました。
他町内会へのアドバイス	・鍋まつりの料理作りについては、その年度の班長さん（20班・1年交替）にお願いしています。 ・執行部は、鍋まつりの付帯イベントを考えるためのネタ探しが必要です。このためには日頃よりの他町内との情報交換が大事となります。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

千鳥ヶ丘町町内会

町内の清掃・清潔整頓運動の定期的な実施

★活動内容

町内の清掃・清潔整頓を図り、ごみのポイ捨て、不法投棄と犯罪の温床になる状況をなくし、安心安全な町をつくるため、町内及び町内道路周辺・千鳥ヶ池公園の雑草刈り払い清掃を、全町民の奉仕により、年3回実施しています。

自主防犯防災会を組織し、月額100円の会費を集め、各戸に消火器1台と火災報知機1台を配布し、年1回の防災・防火訓練を実施し、火災の発生防止と災害時への対処法を訓練しました。

高齢者・独居高齢者への目配りと、福祉の増進を図り、高齢者の活発で自主的な町内行事への参加を推進しています。

◆活動の成果

①実施前、道路脇に不法放置の自動車や自転車などの不法投棄や、はびこりすぎた雑草、ポイ捨てごみが散乱していましたが、それらがまったくなくなり、町の清潔整頓が達成されています。



消火器や火災警報器の点検

②実施して8年が経過しましたが、その間、町内の刑法犯罪が2件に止まり、このところ五年間は0件で推移し、町内パトロールの実施とあいまって「安心安全の町」が達成しつつあります。

③毎年実施する火災予防・防災訓練で町民の防火・防災意識が向上し、事故を未然に防いでいます。

④高齢者も年にめげず、自ら「町のために」と積極的に行動するようになりました。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	①町内通過車両による崖下、窪地へのごみの投げ捨て ②背の高い雑草による見通し悪化による交通事故発生 ③千鳥ヶ池公園に寝泊まりする浮浪者のごみ対応
事業を実施して役立ったこと	①公民館前窪地を整備し花壇にしました。また、町内中央のT字路崖の除草を徹底し、道沿いに花壇を整備したため、通り抜け車両によるごみの投げ捨てが皆無になりました。 ②道路沿いの除草を年3回実施し、雑草による見通し悪化による交通事故がなくなりました。 ③千鳥ヶ池公園の除草とごみカゴ撤去により、浮浪者によるごみが減少しました。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

右狹一區町内会

みんなで協働 明るくきれいな町づくり

★活動内容

農家（20%）と非農家（80%）の混然の町内会にあって、考え方等相違するところも多いことから、福祉・安全・環境整備・青年育成分野別に責任者を設け、町内会を一本化し、明るく活力に満ちた町づくりを育成しています。

・福祉活動…婦人会・農協婦人部が踊りや歌謡曲等の同好会をつくり、町内会の敬老会及び特別養護老人ホームを月1回定期的に訪問し、入所者から喜ばれ好評を博しています。

・地域の安全活動

①45の班を5グループに分け、日々2名で割当て地域の防犯パトロールを実施し、空巣・不審車両の監視に努め、結果として空巣は皆無となりました。また、防災についても毎年組織上の人員を定め、非常事態に備えています。

②児童の下校時、人家のない箇所については高齢者等ボランティアが付き添い、児童の安全を守っています。

・環境活動…市の一斉清掃日以外に町内会毎、各ブロック毎に清掃日を設け、住民の親睦と情報交換の場となっているほか、次により町内会として環境整備を実施しています。

①地権者グループ

耕作していない田畑を放置していると雑草が生い茂り、不法投棄しやすくなってしまいうため、地権者に呼びかけ、春～夏にかけて毎年1回草刈りを実施するとともに、不法投棄された物品を公民館広場まで運び、市に依頼して処理しています。結果として粗大ごみは年々減少傾向になっています。

②高齢者（福寿会）

公民館周辺の清掃・花壇の整備につとめ、季節毎に花を植え町内の美化に励み、また、町内にある広場は空き缶等のごみが捨てられ雑草が生い茂るので、除去のため、年2回柵に入り清掃しています。



老人ホーム慰問



清掃作業とゴミの回収

③その他

子ども会は年5回廃品回収し、リサイクルに寄与しています。また、その回収の周知のため町内会内に回覧で協力依頼を行っています。

◆活動の成果

各種事業とも町内が一体となって活動し、それを通じて町内会の親睦や奉仕の精神が高揚し、自然に町内会の活性化が図られている。

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施して役立ったこと	町内会での事業（夏祭り等含む）を各世代が一体となって盛り上がり、積極的に参加するようになりました。
他町内会へのアドバイス	一人一人の絆を大切に意識の高揚を図る。



主な事業の分類	防災・防犯	環境	福祉	世代間交流	その他
---------	-------	----	----	-------	-----

神立中央一・二丁目 **地域の総合力と地域の輪**

★活動内容

我が町内は、神立西口駅前の繁華街を含む地域であるため、飲食店が多く、治安の維持が懸念されていましたので、自主防犯パトロール隊を組織し、防犯パトロールを行っています。

町内住民の高齢化が進んでいるため、高齢者クラブを支援することで行事等への参加を促しています。

- ①自主防犯パトロール隊は、神立駅西口の繁華街に人が多くなる金曜日や空巢対策として日曜日などを中心に地域役員、各部会、班長、組長の方々にパトロール隊を5班組織して、定期的にパトロールを行っています。
- ②高齢者クラブは、グランドゴルフ等を行う健康部、公園の清掃や花壇の管理等を行う奉仕部、一人暮らし老人の安否を行う女性部、交通安全教室などを行う教養部、研修旅行等を行うレクリエーション部を組織して、活動を活発化させるとともに、町内行事を支えています。
- ③今年度完成した児童公民館の建設をきっかけに、公民館を軸として町内の高齢化対策を進めるため、高齢者クラブへの加入促進を行い、その結果、井戸端会議的語らいの場としてカラオケ部を結成することができました。これからの高齢社会を見据えて介護、ふれあい、不安解消を目的とした健康第一主義の会として住民の期待が高まっています。
- ④町内のCO2削減の一環として、視察研修を実施し、参加者が研修で得た知識を地域で生かすための活動を展開しています。



自主防犯パトロール隊による見回り



定期的な清掃活動

◆活動の成果

- ・自主防犯パトロールを行うようになってから5年が経っていますが、空き巣事件等の発生件数が減少しており、「安心安全のまちづくり」に役立っています。
- ・高齢者クラブの活性化及び地域拠点としての公民館の建設により、町内会だけでなく学校、子ども会など各種団体まで地域内の輪が広まり、高齢者と子どもたちの世代間交流などの地域活動が活性化してきました。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施して役立ったこと	組織・活動がよくなりました。
他町内会へのアドバイス	月1回の幹事会（区役員、前会長）の会議を実施し、区の課題、方針等を話し合うと組織全体の運営は活発化します。
新規事業について	事業の内容：①高齢者の健康体操を希望者のみで月2回実施。 ②炊出しの訓練を実施し、地域の方々に声をかけ、食べてもらう活動を実施。（開始年度：平成24年度） 始めた理由：①健康維持のためです。 ②災害の発生への対応に少しでも参考になればと思ったためです。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

荒川沖南区町内会 地域、住民協働による「安全、安心、明るい・住み良い町づくり」

★活動内容

親睦を基本とし、町内で定めた年中行事に気軽に参加できるように連絡網の徹底を図っています。
安全・安心への防犯活動を推進し「自分たちの町は自分で守ろう」をモットーに、子どもから高齢者まで、出会う人々と気軽に「声かけ運動」を実施し、犯罪抑制・防止を行っています。

◆活動の成果

- 声かけ運動により、防犯活動が地域の事業として確立されています。
- 地域住民・防犯員との情報の共有・交換により「コミュニケーション」が得られ、それぞれの防犯意識が向上し犯罪の抑制と防止に繋がっています。
- 不法投棄箇所が数カ所存在していますが、防犯活動や町内行事である清掃活動のおかげで、今は除々に改善され、環境美化にも貢献しています。
- 地域の防犯灯に番号をつけ、設置図をもとに、電球切れ、損傷等を電柱番号を住民に連絡していただき即対応する事により「犯罪防止の要」となっています。



地域の「餅つき」で親睦を図ります

以上の結果、町内のスローガンである「安全・安心・明るい・住み良いまちづくり」が年々実現の岐路をたどっています。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	町内パトロール要員と小学生を送迎する要員を十分に確保し、継続して毎日、防犯活動ができる体制を作り上げることです。
事業を実施して役立ったこと	町内では防犯活動を通してのコミュニケーションも増え、二次効果として町内会行事等への参加者も徐々に増えています。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

佐野子町

花の咲き誇る地域づくり

★活動内容

放置され荒れていた土地に、不法投棄されるようになり、その解消が町内で問題となっていました。さらに町内会の高齢化による未耕作地が増えつつあり、新たに不法投棄されかねない状況が生じていたことから、空地対策は町内の重要かつ緊急の課題でした。

不法投棄の解消と高齢化による未耕作地を解消するため、町内会全体で知恵を出し合い、参加し、見守る地域づくりを、花作りを通して進めました。



町内の花壇は、シンボルとなっています

①不法投棄の解消方法として、空地が空地のままであることが問題であると考え、どう利用するか町内会で検討を重ねた結果、花を植え、花畑とすることで抑止効果が期待され、結果として不法投棄をさせない環境ができあがっています。

②花の世話にあたっては、町内会の中で役割分担をして、組織（佐野子町町内会、西部分会、西部母の会、花愛好会等）ごとに担当する箇所を決め、無理なく世話をできるようにしました。

③一人暮らしの高齢者や老々世帯の訪問を月に2～3回行い、町ぐるみで高齢者を見守っています。

◆活動の成果

①放置された空地が一つずつなくなることで、不法投棄されることが目に見えてなくなりました。今では、花の咲き誇る名所の一つとなりつつあり、大人から子どもまで住民の目を楽しませています。

②当初1ヶ所であった花畑が、現在では6カ所まで増え、町内住民や、企業による花苗の寄附など、町内住民の協力のもと、地域活動が活性化してきました。

③町内会の花壇づくりに高齢者が多く参加することで、地域において高齢者を見守る気持ちが増し、高齢者が以前にも増して安心して暮らせるようになりました。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施して役立ったこと	未耕作地に花を植えることにより、不法投棄解消に、また、道行く人が花の名前を尋ねることや、「美しい、癒されます」と声をかけていただくなど、ふれあいや環境美化に役立っています。
新規事業について	事業名：佐野子かっぱまつり 開始年度：平成23年度 事業の内容：実行委員3名（建立された方）と区役員（区長、副区長）が中心となり、住民参加で6月第1土曜日・午前10時～午後3時に開催。軽トラ市（野菜、草花、果物等）、模擬店が出て近隣の方も来てくれます。カッパの手も当日は公開され、大手町、城北町おはやし会の公演が、午前、午後1回ずつあり、盛況です。平成24年には「まつりうた」もできました。 始めた理由：佐野子地方には桜川のかっぱ伝説があり「カッパの手」と語り継がれているものも実在します。その話をもとに阿部守男氏、稲見武氏、坂本實氏の3名が石像でかっぱの碑を、阿部守男氏が石像を入れるかっぱ堂を平成22年に建立。佐野子町住民の絆を深める意味と町おこしを併せて、まつりの開催に至りました。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

真鍋四丁目町内会

町内福祉の充実を図る活動の推進

★活動内容

高齢者の方の孤独感・疎外感を解消し、安心・安全に生活ができるような事業を行い、また、町内会活動は、一つの団体や、町内役員に任せるのではなく、各団体が協力・一体となり連携して活動することを念頭に町内福祉の充実を図っています。

①高齢者向けの食事会の開催

平成21年度より年2回実施。今年度は20名の高齢者と食事会を実施し、ボランティアによるレクレーションを行いました。

②『敬老の日』の戸別訪問行事

育成会・子ども会、育成会OG会、民生・児童委員、町内会役員でグループ編成し、「紅白饅頭」・子どもたちによる「絵葉書」、「お祝いの言葉」を高齢者283名一人一人に配布し、高齢者の所在確認を行っています。

③防犯パトロールを兼ねた「ごみ0運動」の継続推進

防犯パトロールに参加しながら、ごみ収集活動を実施しました。

④災害時要援護者（申請者）に対する支援方法の具現化推進

自主防災会、民生委員児童委員が中心となり、自主防犯組織の見直しや災害時要援護者支援台帳をもとに個別災害台帳を作成しました。第2段階として、災害マップの作成や申請者以外の要支援者の把握と支援を検討しています。

◆活動の成果

- ①町内の各団体が協力して推進したことにより、地域一体感の芽が生まれ大きく育っていることが実感できています。
- ②町内行事に育成会のお父さんの参加も増え、まち全体で一体感が高まっています。
- ③各団体と『つながる』ことで、特に高齢者に対する町内福祉が充実し、安心な生活を送ることができる町内会になっています。



「ごみ0運動」と「防犯活動」を実施

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	高齢者の確認が、民生委員からの情報で行っていますが、時期が9月初旬で、敬老の日行事まで短く、準備に支障をきたしております。
事業を実施して役立ったこと	町内各団体（子供・育成会・高齢者・青年会等）との関係が密になりました。
他町内会へのアドバイス	町内各団体との連携を深めることを考える。



主な事業の分類	防災・防犯	環境	福祉	世代間交流	その他
---------	-------	----	----	-------	-----

藤沢団地 **明るい元気な藤沢団地づくり**

★活動内容

団地内の人々が孤立化せずに互いが顔見知りになり、ふれあいの輪を広め、絆を強めるために、夏祭りを始めとして多種多様な行事を行い、ボランティアグループあじさい、高齢者クラブ藤友会、いきいきサロン火曜会の協力を得て「明るい元気な藤沢団地づくり」を自主的に進めています。

①ふれあい夏祭り

今年で22回目となる夏祭りは毎年7月第4土曜日に実施する団地行事最大のイベントで、団地内の各団体が協力して約6割の住民が参加しました。

②敬老の日のお祝い

80歳以上の方を対象に敬老祝い品を届けています。

③趣味のつどいとお茶会

団地集会所を拠点に、色々な趣味をもった方々の協力を得て、趣味のつどいとお茶会を実施し、平成21年10月18日に第1回を開催して以来、毎年行っています。



ふれあい夏祭りを通して親睦を深めます。

④花見会

平成12年より団地として花見会を実施し、約4割の住民が参加しています。

◆活動の成果

①多種多様な集まりを企画し、とりわけ、ふれあい夏祭りや趣味のつどいのお茶会などにより、団地内の住民の交流が図られ、親睦が深まり、住民相互のコミュニケーションが活発化しています。さらに、平成22年度より「幼児育児中のお母さん交流会」を企画して、子育ての応援も行い、世代を超えた交流により、住民同士のつながりが深まっています。

②団地の多様な行事により、高齢者や子育て家庭含め団地内住民の孤立化を防ぎ、互いに支え合う意識が醸成されています。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	内容を変更して実施している
変更した事業と内容	お母さん交流会のみ一時中断しています。
変更した理由	活動の中心となっているボランティア（女性）が療養中のため。
事業を実施するうえでの課題	団地内も高齢化が進んでおり、高齢者の引きこもりによる孤立化が課題と考えています。
事業を実施して役立ったこと	団地内で様々な行事を行うことで、高齢者の孤立化を防ぎ、住民同士の親睦が深まり、コミュニケーションが図られていることです。
他町内会へのアドバイス	藤沢団地は、茨城県住宅供給公社が分譲した団地で、住民は他県出身者が多いですが、住民同士の団結力は強いものがあります。地区長経験者や古くから市内に在住の方々にご相談しながら進めれば、様々な行事が実施可能と思われます。



主な事業の分類	防災・防犯	環境	福祉	世代間交流	その他
---------	-------	----	----	-------	-----

烏山一丁目町内会 **できることは自らの手で！烏山一丁目「なおそう会」で住みよい町づくり**

★活動内容

わが町内会は創設以来、毎月一斉清掃を行い、併せて町内会のコミュニケーションを図っています。当町内会も創設後36年を経過し、高齢化とともに、色々な共用施設の劣化が著しく目立つようになりました。そこで「住民自らできることは自らの手で！」をモットーにこれら共用施設の点検、補修、修繕等を行い、さらなる環境美化と危害予防を図り、安心安全、美しいまちづくりを目指すこととしました。

①町内会から広く募集した「烏山一丁目なおそう会」有志が中心となり、作業日は原則月2回（第3・4曜日9時～）とし、住民自ら町内会の共用施設（公園、集会所、掲示板等）の点検、補修、修繕を行うことにしました。

これまでの主な内容は、遊具塗装、犬猫防止ネット設置、樹木の手入れ、集会所外内壁補修・雨漏り修繕、公園外柵・ベンチ・ポスター掲示板・避難場所案内板補修・塗装等々で広範多岐にわたっています。

②前述の一斉清掃は、毎月の第3日曜日午前8時から4ヶ所ある公園、集会所並びに調整池周辺等を町内会全員で実施しています。



「なおそう会」公園フェンスを補修

◆活動の成果

①子供やお年寄りが安心、快適に公園や集会所等を利用できるようになりました。一斉清掃の後、班毎に役員会の内容を班長から伝達することで、コミュニケーションの一助としています。町内会全体がきめ細かく管理されていることで、犯罪学にいう“割れ窓の理論”効果も期待できます。

②作業中に通りかかった町内会会員との会話を通して町民相互の交流や親近感が図られました。それらの会話から電球交換さえ困難な高齢者や一人暮らしの高齢者の不自由さを知り、手助けの糸口を掴めました。また、定年後何らかの地域貢献をしたい人達が「なおそう会」に参加し、感謝の言葉や、きれいになる共用施設をみて、達成感、充実感を味わうことが、有志相互の一体感、親睦に波及しています。

③各種施設・設備等が錆や損傷により徹底的な劣化・破損する前に、点検・補修・修繕することで耐用命数を伸ばし、大きな経済効果も期待できます。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	①傷害等保険への加入…現なおそう会のメンバーはいずれも高齢者（最高齢者は83歳）であり、慎重に作業したつもりでも怪我等が危惧され、現在町内会で保険加入を検討しているところ。 ②高齢者支援が低調…一人暮らしの高齢者等の支援をより広範に行おうとしていますが、周知不足のためか、要望はやや低調です。この施策を制度として定着するには幾つか課題があり、難しいことですが、何とか実効あるものにしていきたいです。
事業を実施して役立ったこと	①補修、修理による環境美化、危害予防等安全・安心で美しいまちづくりに貢献 ②作業中の町内会会員との会話、交流を通じたコミュニケーションの活発化 ③活動に従事する有志間の充実感、一体感、達成感の醸成
他町内会へのアドバイス	①資格がいる作業や危険な作業はありませんが、電動工具使用や高所の作業（木枝の伐採）があり、従事者及び適応作業内に十分な配慮が必要。傷害保険等が必要。 ②作業箇所にかかわる市役所の担当部課との事前調整が必要です。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他(多文化共生)

神立中央四丁目自治会 町内の地域安全と環境活性化・青少年健全育成の推進活動

★活動内容

私たちの町内は市営住宅、県営住宅から構成され、合計306世帯ほどで、25%位の方が外国籍の方です。特にブラジル国籍の方が多く、自治会の副会長さん1名をブラジル人の方をお願いをしています。市民体育祭や夏祭りも国籍を問わず、一緒に行っており、副会長や子どもが通訳となるため、さほど支障ありません。

私たちは、町内の安心・安全を強化し、環境美化の推進と青少年健全育成の各種イベントの推進を図ることで、団地内の地域の輪を強めています。

- ①地域安全 毎週月曜日に低学年の児童の下校を待って、自宅まで送り届けています。
- ②環境 町内全世帯で毎月第3日曜日に各居住棟周辺と道路の草刈・清掃を行い、住環境向上を推進しています。
- ③青少年健全育成 全世帯参加により毎年7月第3日曜日に児童生徒主体で、子どもまつり、12月第2～3日曜日に子ども餅つき大会を開催しています。

◆活動の成果

- ①安心安全の町づくりの一環として、小学校低学年の迎えを行うことで新1年生とのコミュニケーションがとれて、保護者との交流も良くなり、その効果は計り知れないものがあります。
- ②自治会会員の高齢者一人暮らし世帯への声かけ見守りの奨励によって、会員との交流が徐々に浸透し、一人暮らし高齢者と会員のコミュニケーションが良い方向に向かっています。
- ③高齢者クラブもみじ会の会員による町内花壇、花畑の花植え等も奨励することで、会員同士の交流や自治会イベントへの参加も増えています。
- ④町内の環境を少しでも良くすることと、住環境の整備を考え、児童広場の清掃を奨励したところ、子どもたち104名も進んで快く参加していただき、環境抜群の広場になりました。
- ⑤青少年健全育成の一環として、夏祭りにおいて子ども神輿や模擬店を開き130名が参加。また、子ども餅つき大会を開き自治会会員、高齢者クラブもみじ会、子ども育成会の保護者等のお手伝いをいただき、盛大に開催されました。



盛大に行われた夏祭り

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	特別な事業を新規に開拓したいと考慮中。
事業を実施して役立ったこと	高齢者クラブを主体に新たなコミュニケーションが始まっています。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

小松1・2・3丁目町内会

公民館を中心とした、大規模町内会の三世代交流事業

★活動内容

公民館を拠点にし、小松公民館まつりや餅つき大会などを通して、三世代交流や小松公民館の有効利用を図り、地域福祉や青少年の健全育成を推進しています。

①小松公民館まつり

毎日のように利用されている小松公民館を有効利用し、町内全体の老若男女の三世代交流を目的に、平成11年より小松公民館まつりを開催し、毎年250名以上の参加があります。

②餅つき大会

毎年12月の第2日曜日に、三世代交流を目的に公民館及び千鳥ヶ池公園広場を活用し、200名の参加により餅つき大会を行っています。

③一人暮らしの高齢者へのクリスマスプレゼント

安否の確認と、新年を明るく迎えてもらうため、毎年12月23日に70歳以上の高齢者と重度の障害者の方へ、クリスマスケーキと子どもたちと育成会の母親が、手作りのクリスマスカードを配っています。

④町内の清掃

千鳥ヶ池公園・小松公民館など町内全体清掃を実施しています。



公民館を会場に三世代交流

◆活動の成果

①公民館まつりを通して、住民や各種団体との横のつながりがよくなり、住民同士の交流も以前にも増して盛んになりました。

②公民館へ集まる高齢者が増えており、子どもと母親も公民館まつりに向けた活動などを通して、三世代交流がうまく行われています。市内で3番目の大規模町内会にもかかわらず、高齢者と次世代の交流により、まとまりのある町内会に発展しています。

③一人暮らしの高齢者の安否確認ができるようになり、大規模町内会にもかかわらず、顔が見える住みやすい安心安全のまちとなっています。

④公民館を利用している住民が進んで町内の清掃活動に参加し、防犯パトロールの役割も果たしています。

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	高齢者が多く、若い世代の参加者が少ないことです。
事業を実施して役立ったこと	①三世代が仲良く元気に参加できることです。 ②独自に行っている公民館まつりなどは出品作品、芸能発表など参加作品など募るのに苦労します。
他町内会へのアドバイス	①当町内でも70歳以上の方々が560名ほどになりました。長寿会などの加入率も14%程度です。 ②高齢社会になり、加入率アップが緊急の課題です。
新規事業について	事業名：町内防犯パトロール 事業の内容：土浦二小の児童の下校時刻に合わせてのパトロール ①青色パトカーによるパトロール（月2回）実施。 ②夜間のパトロール（年2回） 始めた理由：小松町は町内が広く、徒歩のパトロールだけではまわりきれないため青色パトカーにおいてパトロールをしています。 ③夜間徒歩において4組に別れ、暗いところ、防犯灯の必要なところのチェック。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

桜町四丁目町会

和をもって三世代交流を図る桜町四丁目青少年健全育成の推進活動

★活動内容

和とふれあいを通して町内会を一本化し、明るく親しみのある地域づくりを進め、高齢者と子ども、親たちとの交流事業を実施し、地域住民の絆を深めることを目標として活動しています。

①世代交流手打ちそば作り体験

②世代交流お楽しみクリスマス会

③納涼祭の実施

8月最終日曜日に、町内会と各組織が一体となり、手作り屋台の出店やビンゴゲームなど隣接の町内住民も来場し、約200名が参加し、親しみのある町内行事となっています。

④青少年健全育成に関する活動

「おはやし」の指導を通して、世代間の交流や子どもたちの町内への愛着心の高揚に役立っています。

⑤地域安全活動（防犯パトロール）の実施

⑥地域福祉に関する活動

「敬老の日」にお祝い品を贈呈し「敬老の日のつどい」を実施し、交流の輪を広げています。



そば作りを通して世代間交流

◆活動の成果

①町内各組織が一体となって協力体制を作り、従来からの活動のさらなる充実と強化を図った結果、町内の人々が互いに顔と名前を知り合い、言葉を交わすようになってきました。特に高齢者と子どものふれあい活動の後は、親しみのあるあいさつをする場面が見られるようになってきました。

②多様な伝承行事や年中行事の実施を通し、住民同士が知り合い、コミュニケーションが図られ、高齢者から子どもたちまで交流が円滑になりました。特に子どもたちは、各種行事により、町内への愛着心の高揚、ふるさと行事の伝承につながっています。

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	母親がパートで働いている方が多く、母子の参加者集めに苦労しました。現在も同じ状況です。
事業を実施して役立ったこと	各家庭の状況を知ることができ、コミュニケーションが多く取れるようになりました。
他町内会へのアドバイス	そば打ち事業については、町内に先生になることができる方がいることが、条件となります。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他(自主講座)

真鍋五丁目町内会

多様な事業の充実による安全で住みよい町づくり活動の推進

★活動内容

町内の事業に各種団体及び一般住民が参加し、相互に協力して活動することにより、事業の充実を図るとともに、地域住民が一体となった町づくりを目指しています。

①自主防犯会による防犯パトロール活動の充実と住民の防犯意識の向上

②防災講習

婦人防火クラブは「自分たちの地域は自分たちで守る」という信念のもと、受講してきた防火・防災や救命に関する講習会を実施。



防火・防災訓練

③八坂神社境内の清掃活動

従来行っていた老人会が活動できなくなったため、それを引き継いだ住民参加による八坂神社境内の清掃活動。

④環境美化運動

町内の一角の花壇を生かして、町内有志による花壇の整備や空き缶拾いなどの環境美化活動。

⑤芋煮会

廃品回収など諸行事の際に、町内で収穫した里芋で芋煮会を開催。

⑥五丁目公民館での講座

町内の熟練者による五丁目公民館のデジカメ・パソコン・芸術鑑賞の講座を定期的で開催。

⑦あいさつ運動

地域のきずなをつくるあいさつ運動の実施。

◆活動の成果

各事業への世代を超えての参加協力により、それらを通して住民相互の親睦が図られ、地域の連帯感や一体感がさらに進みつつあります。

また、各事業への参加者も年々着実に増えてきており、活性化につながっております。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等 (アンケート調査票)

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	各事業を知らせる方法について、各団体を通しての連絡に比べると、一般町民への連絡は回覧板を通しての連絡になるので、場合によっては、時間がかかりがちです。
事業を実施して役立ったこと	各事業を通して世代間での交流が行われたことにより、町民間の親しみが深まっており、そのことが今回の鹿島神社祭礼では、真鍋五丁目担当番町でしたが、町民が協力して楽しく行い、町民の間の“絆”を深めることができました。



主な事業の分類	防災・防犯	環境	福祉	世代間交流	その他
---------	-------	----	----	-------	-----

大岩田二区町内会 **地域の安全・安心、環境美化活動に取り組む大岩田二区**

★活動内容

安心・安全で住みよいまちづくりを目指して数々の活動を展開し、防犯・防災の強化を図り、環境美化については、コミュニティセンターの清掃等を計画し、町内全員が活動を実施することで、地域力を高め、住みやすい町づくりを推進することを目的として活動しています。

①地域の安心安全

- ・防犯活動は、総会時や回覧により防犯パトロール隊を募り、年2～3回の打合せ、反省会を実施。
- ・防災活動は、震災等の有事を想定し、年間行事に併せて、3～4回の炊き出し訓練を実施しています。また、東日本大震災時には、町内を巡回し被害状況を調査し、井戸水を確保。宮城県から町内に避難してきた方々への支援を行い、水郷体育館への避難者へ物資の支援を行いました。

②環境美化について

- ・町内の環境美化と住民の交流を図るため、コミュニティ広場、道路、空地を毎月1回、各班6～7名が輪番制で、清掃作業や古くなったごみ集積所の整備などを行い、地域力を高め、きれいなまちづくりを推進しています。
- ・国道125号線に沿って流れる用水路の清掃を年1回町内会全員の参加により実施しています。

◆活動の成果

- ①空き巣等盗難・不審者が減り、隊員同士・隊員と住民のコミュニケーションがとれ、自然にあいさつが交わされるようになりました。
- ②小学生や父兄とのコミュニケーションが図られるようになりました。
- ③震災時において、即座に対応ができました。
- ④炊き出し訓練によって、世代間交流が図られるようになりました。
- ⑤輪番制の清掃活動によって、コミュニティセンターや広場が常にきれいになっています。



下校時の防犯パトロール

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	役員会、班長会、各活動部で課題について話し合っ決定するため特にありません。
事業を実施して役立ったこと	防犯隊員同士、隊員と住民のコミュニケーションがとれました。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他(情報の共有)

霞ヶ岡町町内会

みんな元気推進事業

★活動内容

長年にわたり実施してきた各種の元気づくり、ふれあい絆づくり事業を引き続き実施し、子どもたちには故郷のよい思い出を、高齢者には生きがいを持って毎日過ごせるように住んで住みよい町づくりを推進しています。

- ①町内会だより…廃品回収、会費の徴収、役員会の開催、地区長レポート、防犯会などを月2回、市の広報回覧にあわせて発行回覧しています。
- ②親子夏祭り……先人から引継ぎ、祭りの準備や巡行、片づけ等の運営は町内会とボランティアグループが一体となり行い、約250人が参加するなど住民を結びつけ、一体感をさらに高めています。
- ③納涼盆踊り……8月中旬に2日間、町内会とボランティアグループが一体となり実施し、200人の参加と、用意したやきそば500食などは完売しました。
- ④敬老祝賀会……町内のボランティアグループ（有志会と結星会）が会場の準備を行い、高齢者はお互いが交流できるので楽しみにしている方が多いです。
- ⑤大岩田小学校地区市民体育祭への参加
- ⑥年末もちつき大会 ⑦廃品回収
- ⑧キララ祭り参加 ⑨高齢者の元気支援活動



世代間交流

◆活動の成果

各種事業を実施している際には、町内ボランティアグループ（子ども会指導者や有志会など）が常に核となり、町内会に協力し、支援してきました。

町内総ぐるみで、町内会の諸行事を実施してきたことにより、明るく住みよい町が形成されています。

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	①町内の小売店がほとんど閉店し、諸行事の支援者が減少していること。 ②町内会役員、班長は一年交代であるため、年度により諸事業を実施支援するボランティアの負担に軽重が生じること。
事業を実施して役立ったこと	「町内会だより」を月2回、市広報にあわせて発行していることで、町内会の行事予定、動向を町内の方たちに知らせ、理解が得られています。また、一部の方たちからは感謝の言葉が寄せられています。
他町内会へのアドバイス	幅広いボランティア活動者の協力が得られる組織作りが必要です。
新規事業について	事業名：自主防災環境の整備（検討中） 事業の内容：防災集会所と防災倉庫を霞ヶ岡駐在所跡地に設置して、平常時には防災訓練、緊急時には救援対策指令所としての機能を整備して、安心・安全に生活できるための拠点とします。 始めた理由：自主防災会は平成8年に編成されましたが、その後メンバーの高齢化により交代があり、機能しなくなっているためです。また、3.11東日本大震災の状況を教訓として防災環境を整えるためです。



主な事業の分類	防災・防犯	環境	福祉	世代間交流	その他
---------	-------	----	----	-------	-----

荒川沖西三丁目町内会 **地域安全が一番**

★活動内容

「地域の安心・安全のまちづくりと、犯罪・事故・災害を未然に防止する。」

我が町内は新旧住民が混在の中、誰もが共有している地域の安心・安全に対し、防犯隊員・地区長以下30名にて班構成し、日中・夜間にパトロールを実施しています。

パトロールでは、防犯灯の不具合の発見や不審車両の点検、一人暮らしの方の家への声かけなどに重点をおき、青色パトカーも導入してスピーカーを用い、注意を呼びかけています。さらに学童の登下校時の時間帯には、通学路の安全確認のため、毎日危険箇所の交通整理とあいさつを交わしながら安全を見守り、また、隊員以外にも町全体が一丸となって住民や高齢者クラブの協力を得て、それぞれ自主的に防犯用帽子をかぶり、防犯タスキをかけながら、町内の巡回や買物・散歩などに出かけるなど、防犯活動の意識を日常生活に取り入れていることが町の犯罪予防に大いに役立っています。

年末には、今年で8回目になる歳末パトロールを実施し、子ども会を中心に高齢者クラブ・防犯隊員が約1時間をかけて、通学路の安全確認や子ども110番の家の確認をしながら、パトロールを行いました。この行事には、荒川沖小学校からも参加していただき、子ども達が真剣に取り組む様子を見ていただいています。同時に、土浦市役所生活安全課と土浦警察署荒川沖交番に依頼をし、署長さんには防犯の講演をしていただいているので、参加者には大いに評判です。この様に日頃から住人の意識を高め合う生活をするのが防犯には大切です。



年末の合同パトロール

◆活動の成果

以前とは違って、自然とあいさつや笑顔が多くみられ町内全体が明るくなりました。近隣の町会と比べ、ひったくりや車上荒らし・自転車盗・侵入盗など犯罪発生件数が極端に減りました。

《参考》 平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	平穏であることが、当たり前とされていますので、住民の危機意識の向上。
事業を実施して役立ったこと	今まで以上に子どもたちや大人たちがあいさつを交わすようになりました。防犯に直接かかわることで、地区町内に関心を持ち、運動することで健康にも役立っています。
他町内会へのアドバイス	防犯は人任せでなく自ら、自分の家は自分で守る努力が大事です。
新規事業について	事業名：移動パラソルまちばん 開始年度：平成24年度 事業の内容：土浦市では、治安を良くするため2年前より荒川沖・神立両駅にまちばんステーションを設置し、駅周辺の安全・安心を提供しています。そこで私たちは、さらに身近に位置付け、大きなビーチパラソル・スタンドを購入し、町内の椅子を用意しました。住民同士の憩いの場・緊急駆け込みや相談、日差しが強い時の日よけ、雨や雪の日の一時しのぎにと、用途はたくさんあります。一番の利点は、簡単に移動できることです。「移動パラソルまちばん」は人が絶えず常駐しているわけではありませんが、空き地やその隅などに土地所有者の許可を得た上で実施しています。 始めた理由：人と人とが交流することで、町全体が明るくなることを信じて、ちょっとした外出の時に、この場所に寄ってもらえればと思い計画しました。



主な事業の分類

防災・防犯

環境

福祉

世代間交流

その他

中村南三丁目町内会

「栗畑を拠点とした世代間交流事業」及び「町内一丸となった環境美化運動」

★活動内容

町内会の組織が連携して事業を行い、高齢者の生きがいや健康づくりを進めるとともに、子どもや親たちとの世代間交流を図ることで地域住民全体の絆を深め、地域一丸となって安全安心でごみのないきれいな住みよいまちづくりの推進に取り組んでいます。

①栗畑を拠点とした世代間交流事業

町内の組織である「三和クラブ（高齢者クラブ）・「あおぞら子ども会」・「かけはし会」が連携して、通称《栗畑》において、季節の花や芋苗の植え付け、草取りなどの手入れをしながら、秋の収穫に至るまで作業を続けています。秋の収穫祭では、子ども会を始め、各団体総出で焼き芋・餅つき・バーベキューなどの催しを行い、絆を深める大切な行事となっています。また、収穫されたさつまいもは、主に高齢者宅を中心に地域の方へ配布しています。

②環境美化への取り組み

主に花壇づくりや霞ヶ浦湖上研修などを実施し、市のプラスチック容器包装モデル地区の指定を受けて、環境美化活動を行っています。

③安心安全なまちづくりへの取り組み

防犯パトロール隊や自主防災組織による活動、さらに市の出前講座を活用した交通安全講習会や食の研修会を実施しています。



秋の収穫祭で世代間交流

◆活動の成果

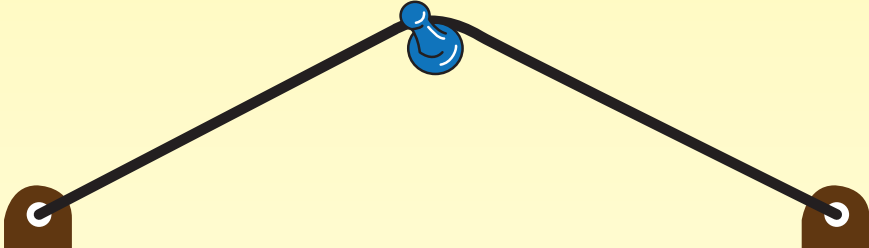
栗畑を拠点とした世代間交流事業を実施することで、各団体のつながりや、世代を問わず多くの人が参加して、三世代の交流が図られています。それはまさに世代をつなぐ組織「かけはし会」がよく機能しているからです。このことで、町内の人々が互いに言葉を交わし、顔見知りになり、特に高齢者と子どものふれあい活動を通じて、親しみのあるあいさつをする場面が多くみられるようになってきました。また、町内の各種行事が子どもたちの体感として残り、町内への愛着心が芽生え、ふるさと行事の伝承につなげたいと思います。このような年中行事を通して、住民同士が知り合い、コミュニケーションが図られ、町内に一体感が出るようになってきました。

《参考》平成24年8月31日現在の活動状況等（アンケート調査票）

活動状況等	アンケートの回答内容
事業の状況	現在も同じ内容で実施している
事業を実施するうえでの課題	年々感じることは、子ども会の子ども的人数が少なく、高齢化による奉仕活動などが、困難になっています。その中心部になっている「かけはし会」の協力が最も必要となります。
事業を実施して役立ったこと	この活動を通じて町内住民同士の交流により、親睦が深まりました。また、声をかけ合うことにより、防犯対策がとれました。
他町内会へのアドバイス	町内の住民、年齢にかかわらず、一人一人が積極的に主な活動に参加することで、受け身で行うものではないと思います。

(参考)

各町内の 主な活動内容別索引

- 
- ① 防災・防犯に関する活動 …… 46、47
 - ② 環境に関する活動 ……………48
 - ③ 福祉に関する活動 ……………49
 - ④ 世代間交流に関する活動 ……………50
 - ⑤ その他、組織の充実などの活動 ……51



主な活動別分類：防災・防犯に関する活動

町内会名	主な活動内容	頁
田中一丁目町会	防犯パトロールを実施しながら、ガードレールの点検、防犯灯の確認、不審者の発見作業などを行っている。	1
中村南四丁目町会	大鍋を使った炊き出し訓練や防犯マップ作りを子どもたちが行い、有事に備えた学習や訓練を行っている。	2
荒川沖西二丁目町内会	「すぐやる連絡網」を活用し、防犯パトロールや公園の清掃、小学生の登下校時の見守り活動などの取組を行っている。	5
神立中央三丁目自治会	安心して暮らせるまちづくりのため、防犯パトロールや違反広告物追放活動を実施し、ご近所の連帯感が醸成されている。	6
国分町会	地域防犯パトロールを発展させた「スクールガード」、「声かけ運動」及び「高齢者宅マップ」を作成し、安心安全のまちづくりを推進している。	8
桜ヶ丘町町内会	安心なまちづくりのために、小学生の下校時の立哨や「青色回転灯装備車」を活用しながら、効果的な防犯パトロールを行っている。	9
まりやま団地自治会	高齢者に対する地域福祉やあいさつ運動、防犯パトロール、町内清掃活動などを地域ぐるみで推進している。	12
中高津一・二・三丁目町内会	中高津自警団を核として、徒歩・青色パトカーによる巡回パトロール、あいさつ運動などの活動を行っている。	15
神立中央五丁目自治会	次百事業（次の百点満点・及第点を目指した事業）として、サロン伍楽（高齢者の生きがい対策事業）、防犯パトロールを行っている。	17
まりやま新町自治会	住宅用火災報知器を共同購入し、全戸に設置。また児童の安全確保のため、下校時付き添いボランティアを行っている。	18
真鍋一丁目町内会	防犯パトロールを兼ねて、新川沿いや、つくばりんりんロードの清掃活動を行っている。	19
大手町町会	防犯パトロールの強化や「すこやか大手町だより」による健康な生活の喚起、祭りの参加を通して、町民の親睦と世代間交流を進めている。	22
荒川沖東一丁目町会	小学生の田植え、稲刈り体験学習、夏祭り等の青少年健全育成、防犯協力隊による防犯パトロール、町会報「東1だより」の発行を行っている。	24
菅谷町町内会	「みんなで造ろう住みやすい町づくり」をスローガンに、鶴沼公園等の清掃や防犯パトロール、あいさつの指導などを行っている。	27
立田町	2つの班編成で実施している防犯パトロールとあわせて、新川沿いの清掃活動や、冬期間は火災予防を喚起する拍子木を打って巡回している。	28
真鍋三丁目町内会	誰もが参加できるような地域イベント（鍋まつり）、安全パトロール、清掃活動を実施して、交流・親睦を行っている。	29
千鳥ヶ丘町町内会	町内清掃・整頓を実施し、ごみのポイ捨てや不法投棄に対する環境の活動や、各戸に消火器1台と火災報知機1台の配布を行うなど、防災活動も行っている。	30
右粉一区町内会	福祉・安全・環境整備・青少年育成のそれぞれに責任者を設け、老人ホームへの慰問や防犯パトロール、環境活動などを実施し、活力あるまちづくりを進めている。	31



町内会名	主な活動内容	頁
神立中央一・二丁目	防犯パトロールを強化し、安心安全なまちづくりを進め、また高齢者対策のため地域公民館を活用した語らいの場などの活動を行っている。	32
荒川沖南区町内会	安心安全への防犯活動や声かけ運動、地域住民と防犯員の情報共有や防犯灯に番号をつけた設置図を作成するなどの活動を行っている。	33
真鍋四丁目町内会	高齢者向けの食事会、敬老の日の戸別訪問、防犯パトロールを兼ねたごみ拾いなどの事業を、町内の各団体が協力しながら行っている。	35
神立中央四丁目自治会	自治会役員に外国人の方を依頼し、通訳になってもらっている。下校時に低学年児童を自宅まで送り届けたり、草刈や清掃活動、餅つき大会などを実施し、団地内の地域安全、環境美化の活動を行っている。	38
桜町四丁目町会	明るく親しみのある地域づくりを進めるため、高齢者と子どものそば打ち体験やクリスマス会、お囃子の指導などの世代間交流事業を実施し、地域の絆を深めている。また、地域安全活動のため防犯パトロールを行っている。	40
真鍋五丁目町内会	防犯パトロール、防災講演会、境内清掃、芋煮会、公民館での講座などを行い、事業の充実を図るとともに地域住民が一体となった町づくりを進めている。	41
大岩田二区町内会	定期的な防犯パトロール後の打合せや反省会、炊き出し訓練、輪番制による清掃活動などを実施して住みやすいまちづくり活動を行っている。	42
荒川沖西三丁目町内会	「地域安全が一番」をモットーに、防犯パトロールや高齢者宅への声かけ、通学路の点検などを行い、犯罪・事故・災害を未然に防止する活動を行っている。	44



主な活動別分類：環境に関する活動

町内会名	主な活動内容	頁
荒川沖西二丁目町内会	「すぐやる連絡網」を活用し、防犯パトロールや公園の清掃、小学生の登下校時の見守り活動などの取組を行っている。	5
並木四丁目町内会	子ども会や健康クラブが連携した子ども広場の除草、整地、転倒防止体操に住民が積極的に参加をすることで、よりよい町づくりを進めている。	10
北荒川沖町自治会	「一点集中方式」によるごみ回収等で町内の美化を図るとともに、あいさつの励行により、子どもたちが元気なあいさつをするようになった。	11
まりやま団地自治会	高齢者に対する地域福祉やあいさつ運動、防犯パトロール、町内清掃活動などを地域ぐるみで推進している。	12
蓮河原町内会	長年放置されていた旧桜川水路内のごみ・朽木等の撤去を行い、ごみのない美しい水辺の町になっている。	14
真鍋一丁目町内会	防犯パトロールを兼ねて、新川沿いや、つくばりりんロードの清掃活動を行っている。	19
菅谷町町内会	「みんなで造ろう住みやすい町づくり」をスローガンに、鶴沼公園等の清掃や防犯パトロール、あいさつの指導などを行っている。	27
立田町	2つの班編成で実施している防犯パトロールとあわせて、新川沿いの清掃活動や、冬期間は火災予防を喚起する拍子木を打って巡回している。	28
真鍋三丁目町内会	誰もが参加できるような地域イベント（鍋まつり）、安全パトロール、清掃活動を実施して、交流・親睦を行っている。	29
千鳥ヶ丘町町内会	町内清掃・整頓を実施し、ごみのポイ捨てや不法投棄に対する環境の活動や、各戸に消火器1台と火災報知機1台の配布を行うなど、防災活動も行っている。	30
右朧一区町内会	福祉・安全・環境整備・青少年育成のそれぞれに責任者を設け、老人ホームへの慰問や防犯パトロール、環境活動などを実施し、活力あるまちづくりを進めている。	31
佐野子町	不法投棄の解消と高齢化による未耕作地を解消するため、町内会で知恵を出し合い、花畑や花壇として未耕作地を整備して問題の解決に取り組んでいる。	34
烏山一丁目町内会	「住民自らできることは自らの手で！」をモットーに、公園のフェンスなどの共用施設の修繕や町内清掃を行い、自分たちできれいにする活動を行っている。	37
神立中央四丁目自治会	自治会役員に外国人の方を依頼し、通訳になってもらっている。下校時に低学年児童を自宅まで送り届けたり、草刈や清掃活動、餅つき大会などを実施し、団地内の地域安全、環境美化の活動を行っている。	38
小松1・2・3丁目町内会	公民館を拠点にした、公民館まつりや餅つき大会などの行事を通して、三世代交流や町内清掃活動を実施し、地域福祉や青少年の健全育成に取り組んでいる。	39
真鍋五丁目町内会	防犯パトロール、防災講演会、境内清掃、芋煮会、公民館での講座などを行い、事業の充実を図るとともに地域住民が一体となった町づくりを進めている。	41
大岩田二区町内会	定期的な防犯パトロール後の打合せや反省会、炊き出し訓練、輪番制による清掃活動などを実施して住みやすいまちづくり活動を行っている。	42
中村南三丁目町内会	栗畑を活用した花壇づくりや芋の収穫祭を行い、高齢者宅には収穫した芋を配布して世代間交流を図り、ごみのないきれいな住みよいまちづくりのため、清掃活動を行っている。	45



主な活動別分類：福祉に関する活動

町内会名	主な活動内容	頁
国分町会	地域防犯パトロールを発展させた「スクールガード」、「声かけ運動」及び「高齢者宅マップ」を作成し、安心安全のまちづくりを推進している。	8
並木四丁目町内会	子ども会や健康クラブが連携した子ども広場の除草、整地、転倒防止体操に住民が積極的に参加をすることで、よりよい町づくりを進めている。	10
まりやま団地自治会	高齢者に対する地域福祉やあいさつ運動、防犯パトロール、町内清掃活動などを地域ぐるみで推進している。	12
神立中央五丁目自治会	次百事業（次の百点満点・及第点を旨とした事業）として、サロン伍楽（高齢者の生きがい対策事業）、防犯パトロールを行っている。	17
大手町町会	防犯パトロールの強化や「すこやか大手町だより」による健康な生活の喚起、祭りの参加を通して、町民の親睦と世代間交流を進めている。	22
天川一・二丁目町内会	町内では高齢化が進んでいるため、健康体操、歌の勉強、講演、会食などの催しを行い、高齢者への健康対策・いきがいづくりを行っている。	23
右粕一区町内会	福祉・安全・環境整備・青少年育成のそれぞれに責任者を設け、老人ホームへの慰問や防犯パトロール、環境活動などを実施し、活力あるまちづくりを進めている。	31
神立中央一・二丁目	防犯パトロールを強化し、安心安全なまちづくりを進め、また高齢者対策のため地域公民館を活用した語らいの場などの活動を行っている。	32
真鍋四丁目町内会	高齢者向けの食事会、敬老の日の戸別訪問、防犯パトロールを兼ねたごみ拾いなどの事業を、町内の各団体が協力しながら行っている。	35
神立中央四丁目自治会	自治会役員に外国人の方を依頼し、通訳になってもらっている。下校時に低学年児童を自宅まで送り届けたり、草刈りや清掃活動、餅つき大会などを実施し、団地内の地域安全、環境美化の活動を行っている。	38
小松1・2・3丁目町内会	公民館を拠点にした、公民館まつりや餅つき大会などの行事を通して、三世代交流や町内清掃活動を実施し、地域福祉や青少年の健全育成に取り組んでいる。	39
霞ヶ岡町町内会	親子夏祭りや納涼盆踊り大会、敬老祝賀会などの事業をボランティアグループが中心となり実施して、諸行事を町内全体で行っている。町内だよりを月2回発行している。	43
荒川沖西三丁目町内会	「地域安全が一番」をモットーに、防犯パトロールや高齢者宅への声かけ、通学路の点検などを行い、犯罪・事故・災害を未然に防止する活動を行っている。	44



主な活動別分類：世代間交流に関する活動

町内会名	主な活動内容	頁
中村南四丁目町会	大鍋を使った炊き出し訓練や防犯マップ作りを子どもたちが行い、有事に備えた学習や訓練を行っている。	2
烏山二丁目町内会	伝統行事である町内納涼盆踊り大会や七夕おどりに参加することによって、世代間の連携が図られている。	3
港町1・2丁目町会	子どもから高齢者まで一体となって行事を行うことで、世代間交流が図られている。	7
中村東町々会	「中村東町親睦会」が中心となり、ソフトボール大会や餅つきなどを行い、町民相互が“顔見知り”になれる場を提供して、町会の親睦・連携を図っている。	16
大手町町会	防犯パトロールの強化や「すこやか大手町だより」による健康な生活の喚起、祭りの参加を通して、町民の親睦と世代間交流を進めている。	22
中村南一丁目町内会	月1回の世代間交流事業や夏祭り、敬老を祝う会など高齢者の生きがいや健康づくりなどを通して地域の交流を図っている。	25
真鍋二丁目町内会	公民館を拠点として、高齢者クラブ活動、花見会、女性グループ活動、公民館の一般開放など世代を超えた多様なコミュニティ活動を実施している。	26
真鍋三丁目町内会	誰もが参加できるような地域イベント（鍋まつり）、安全パトロール、清掃活動を実施して、交流・親睦を行っている。	29
藤沢団地	団地内の住民が孤立化せず互いに顔見知りになるために、夏祭りや敬老のお祝い、公民館での趣味の集いなど「明るい元気な藤沢団地づくり」を進めている。	36
小松1・2・3丁目町内会	公民館を拠点にした、公民館まつりや餅つき大会などの行事を通して、三世代交流や町内清掃活動を実施し、地域福祉や青少年の健全育成に取り組んでいる。	39
桜町四丁目町会	明るく親しみのある地域づくりを進めるため、高齢者と子どものそば打ち体験やクリスマス会、お囃子の指導などの世代間交流事業を実施し、地域の絆を深めている。また、地域安全活動のため防犯パトロールを行っている。	40
霞ヶ岡町町内会	親子夏祭りや納涼盆踊り大会、敬老祝賀会などの事業をボランティアグループが中心となり実施して、諸行事を町内全体で取り組んでいる。町内だよりを月2回発行している。	43
中村南三丁目町内会	栗畑を活用した花壇づくりや芋の収穫祭を行い、高齢者宅には収穫した芋を配布して世代間交流を図り、ごみのないきれいな住みよいまちづくりのため、清掃活動を行っている。	45



主な活動別分類：その他、組織の充実などの活動

町内会名	主な活動内容	頁
真鍋六丁目町会	町内に総務・環境・体育等6つの委員会を設け、それぞれの委員会が防犯パトロールや体育祭の運営、敬老祝賀会の計画運営などを活発に行っている。	4
生田町町会	生田町公民館まつりを開催して交流と連帯感を深め、同好会による一人暮らしの方への訪問や給食会も実施している。	13
並木二丁目町会	「町会だより」を発行して情報の共有化を推進し、町会運営の活性化を図っている。	20
西並木町会	お祭りを通した交流会によって、「防犯灯位置図・防災マップ」が作成されたり、グランドゴルフ会が誕生し、町内が活性化している。	21
荒川沖東一丁目町会	小学生の田植え、稲刈り体験学習、夏祭り等の青少年健全育成、防犯協力隊による防犯パトロール、町会報「東1だより」の発行を行っている。	24
神立中央四丁目自治会	自治会役員に外国人の方を依頼し、通訳になってもらっている。下校時に低学年児童を自宅まで送り届けたり、草刈りや清掃活動、餅つき大会などを実施し、団地内の地域安全、環境美化の活動を行っている。	38
真鍋五丁目町内会	防犯パトロール、防災講演会、境内清掃、芋煮会、公民館での講座などを行い、事業の充実を図るとともに地域住民が一体となった町づくりを進めている。	41
霞ヶ岡町町内会	親子夏祭りや納涼盆踊り大会、敬老祝賀会などの事業をボランティアグループが中心となり実施して、諸行事を町内全体で取り組んでいる。町内だよりを月2回発行している。	43

まちづくり活動のヒント

平成25年3月

発行：土浦市

編集：市民生活部市民活動課

土浦市下高津1-20-35

TEL 029-826-1111



土浦市イメージキャラクター
「つちまる」